

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 岩手ひだまり会

目 次

	頁
I 令和元年度事業報告	… 3
II 事業経営	
1.児童通所支援施設	
(1) 放課後等デイサービス ひだまり江刺桜木	… 25
(2) 放課後等デイサービス ひだまり江刺岩谷堂児童課	… 34
(3) 放課後等デイサービス ひだまり江刺第二桜木	… 43
(4) 放課後等デイサービス ひだまり水沢森下児童課	… 52
(5) 放課後等デイサービス ひだまり水沢駅東	… 63
(6) 放課後等デイサービス ひだまり水沢横町	… 73
(7) 放課後等デイサービス ひだまり胆沢	… 83
(8) 放課後等デイサービス ひだまり北上中央	… 93
(9) 放課後等デイサービス ひだまり北上にこっと	… 101

2.障害者支援施設

(10)就労継続支援 B 型事業所 ひだまり江刺岩谷堂就労課 … 113

(11)生活介護事業所 ひだまり水沢森下生活介護課 … 120

3.相談支援施設

(12)相談支援事業所ひだまり … 128

令和元年度

法人本部事業報告書

社会福祉法人岩手ひだまり会

令和元年度社会福祉法人岩手ひだまり会事業報告

I. 前文

令和元年度は、平成30年度の事業収入に比して約1,240万円、約3.4%の減となりました。減収の要因は、日中一時支援事業利用者の増加による放課後等デイサービス利用者の減少、定員超過による恒常的な減算、国の新型コロナウイルス感染拡大防止施策による支援学校等の休校措置により、早朝から支援に当たる職員の疲弊を防ぐため令和2年3月から4月初めにかけて土・日曜日、祝日を休業日にしたことが挙げられます。

令和元年度の人件費は前年度より約885万円の増、人件費率は74.14%となり前年度より4.89ポイントの増となりました。利用児・者の送迎時間帯が同一時間帯に集中することや利用児・者1人に対して職員が1人対応しなければならない事業所もあり看護師職員の増を図ったこと、重症心身障がい児・医療的ケア児童対応型放課後等デイサービス「ひだまり水沢☆きらり」の開所に伴う早期の職員の確保などが要因です。

奥州市、北上市への新規参入事業所との差別化を図るべく、奥州市では子育てカフェ（ペアレントトレーニング）を、北上市では個別支援のトレーニングを進めてきました。しかし、子育てカフェ開催による利用児の増は見込めず、個別支援のトレーニングは講師が新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受け来北できず一時中断している状況です。

懸案であった重度心身障がい児、医療的ケア児のための事業所は、令和2年度の開設に向けて施設の改修、職員の確保など準備を重ねてきました。

職員確保は、民間のリクルート企業やホームページ掲載による求人、見学会の開催など、積極的な展開を行いました。その結果、新卒者2名の採用となりました。看護師、保育士の中途採用は、前年度をしのぐ応募がありました。しかし、給与等の折り合いがつかず採用辞退者も多くありました。そのような中で、社会福祉士有資格者2名の採用もあり、資格者確保の成果が表れました。

職員の働きやすい環境を醸成するため住宅手当や資格手当を新設するとともに職員の資格取得への意欲も喚起してきたところです。

平成30年度と比較して収入の減、人件費の増はありましたが、新規施設の開設準備や職員確保、事業所の差別化を図るためのステップなど十分とは言えないまでも、令和元年度計画は概ね達成できたところです。

今後も「人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ」の理念の下、役職員一同、更なる法人経営の安定と社会福祉の増進に努めます。

II. 基本理念

人に尽くし 人に学び 人に感謝せよ

III. 基本方針

- ・私たちは、利用者・家族・地域に寄り添いながら、地域社会に貢献していきます。
(社会貢献)
- ・私たちは、利用者の人権と尊厳を保持し、心身共に健やかに育成されるよう適切な支援に取り組みます。
(人権と尊厳)
- ・私たちは、利用者・家族・地域の方々と連携し、共に学び共に成長できるよう、資質の向上に努めます。
(資質の向上)
- ・私たちは、利用者・家族・地域のおかげさまであると感謝と謙虚な気持ちを忘れず、堅実な経営に努めます。
(堅実経営)

IV. 事業の成果と課題

令和元年度においては下記重点項目(具体的事業内容)に沿って事業を実施しました。その成果と課題について項目に沿ってご報告します。

(1) 地域で必要とされるサービスの提供

①医療的ケア等を必要とする重症児デイサービス開設に向けた取り組み

平成27年度より調査・研究を進め、平成30年度においては、全国重症児デイネットワーク及び奥州市子育て支援センター、子ども家庭課等関係機関との協働により令和2年度5月1日に重症心身障がい児(者)・医療的ケア児(者)対応型多機能施設「ひだまり水沢☆(ほし)きらり」(未就学児療育施設である児童発達支援事業所、6歳から18歳までの障がい児童を対象とした児童通所支援施設である放課後等デイサービス事業所、18歳以上の障がい者を対象とした生活介護事業所)を開設しました。当初、課題とされた医療従事者、教育関係者等専門職の確保も本会の取り組みに共感いただいた嘱託医、理学療法士、作業療法士、元教師、看護師2名、保育士、心理職児童指導員、介護福祉士等専門性の高い人材に恵まれ、利用児、ご家族が安心して利用できる北上市以南では初の療育施設の開設に至りました。

②相談支援専門員の増員による「手厚い相談支援」体制への取り組み

相談支援事業所については、平成25年度に奥州市に相談支援事業所ひだまり、平成30年度については北上市に相談支援事業所ひだまり北上中央と2か所3名の相談支援専門員配置での相談援助に努めてまいりましたが、平成31年に北上地区の放課後等デ

サービスの利用人員が予想を上回る形で職員を療育に専念させるため、相談支援事業所を一時休業していました。

また、令和元年度中に奥州市が突然、開設当初からの障害者等相談支援事業委託費を急遽、次年度廃止という情報(以後、次年度においては委託費の減額、そして廃止の方向に変更となりました。)があり、今後の相談支援体制がとれなくなることが予想されることから、現状維持のままであると経営に大きく影響するため、致し方なく次年度においては奥州市1名の相談支援専門員の減員配置という形で縮小しました。

相談援助業務は課題を抱える児・者への生活全般を支援する包括的な取り組みが必要であり費用対効果が図れない事業であります。今後、市町村からの委託費の減額から廃止に至る国の指針と逆行する取り組みの中、本会においては引き続き「本人、家族、学校、事業所、医療関係機関」との連携による包括的支援に取り組み、障がい児者において、安心して暮らせる地域づくりのために相談援助事業の維持に努めてまいります。

③法人の拠点となる施設整備に向けた取り組み

④児童から成人まで生活できる「切れ目のない」福祉サービス(就労支援・グループホーム・生活介護等)の拠点開設に向けた調査・検討

平成27年の社会福祉法人化からの重要案件として取り組んでまいりました中核拠点の整備計画においてもようやく土地取得が完了しつつあり、令和4年度の開設に向けて現状の利用状況、地域ニーズを精査するとともに国庫補助等の助成金の活用を踏まえた施設整備に取り組んでいます。

⑤ 就労継続支援B型事業所利用者の特性及び希望に沿った魅力ある生産活動へ調査・検討

現在、岩谷堂において就労継続支援B型事業所は4年目に入り、徐々にではありませんが地域の皆様に認知され利用者も定員10名に近づきつつあります。しかしながら建物が放課後等デイサービスひだまり江刺岩谷堂2階での事業所であるため、車椅子等の移動に障がいのある利用者についてはエレベーター等昇降装置も設置しておらず、バリアフリーではなく利用者への制限や使いづらさが課題となっています。これについては、定員10名から20名程度の利用者が働ける新施設物件の調査を進めており令和4年度を目途に施設と定員の充実に努めてまいります。

また、現在の利用者への工賃向上を目的とした「目標工賃達成指導員の設置」については令和2年度中に設置し、さらなる就労支援に取り組むとともに生産活動一辺倒ではなく、旅行・本人活動等を通じた社会適応性の向上と社会参加活動の充実を通じた「利用者のQOL(生活の質)の向上」に取り組む必要があります。

⑥ 早期支援実現に向けた児童発達支援事業の開設に向けた調査・検討

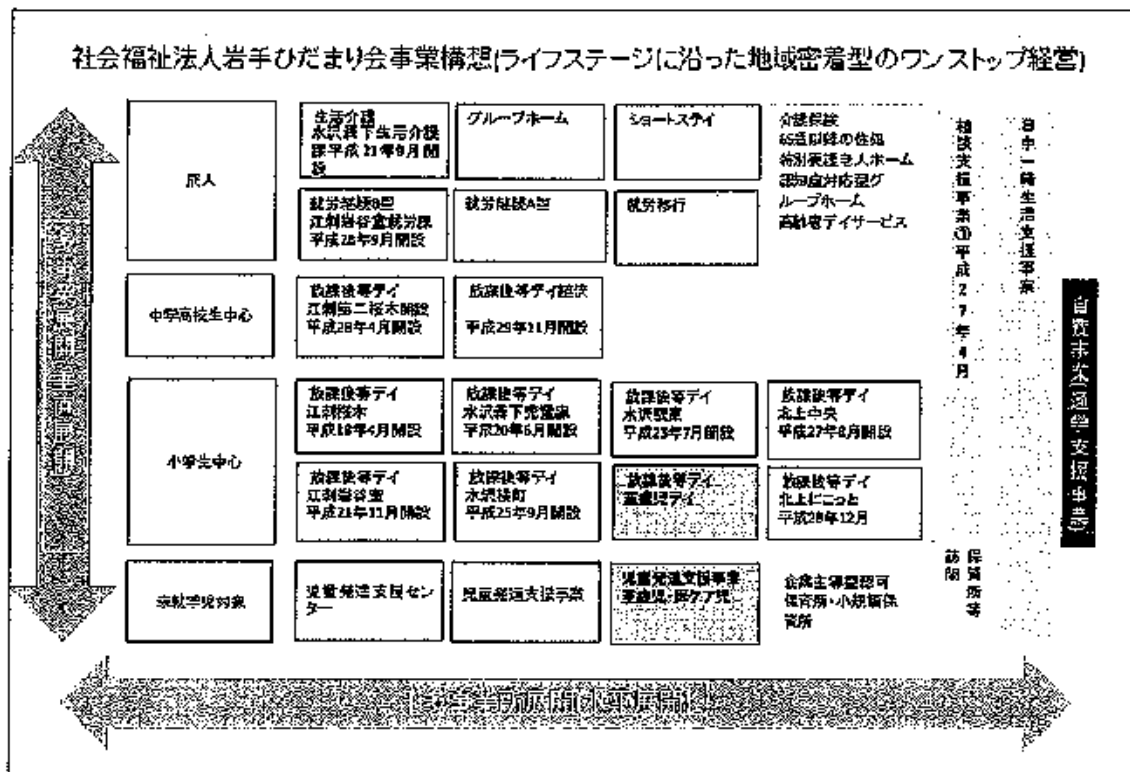
現在、個別支援においては国内で非常に高く評価されている(株)LITALICOと令和元年度よりコンサルテーション契約を結び北上地区において「個別支援療育トレーナー育成プログラム」を受講中であり、令和2年度後期に北上地区を皮切りに児童発達支援事業による個別支援の試験的運用を進めていく予定です。さらに、保育所等訪問支援について

も、先のトレーナー育成と併せて段階的に取り組みます。

また、平成30年度より取り組み好評を博している「楽しい子育てカフェ(ペアレントトレーニング)」についても引き続き取り組むとともに、リモートソフト等を使い自宅でも携帯電話、パソコン等から受講していくシステムも現在構築中であります。

⑦現在利用している児童が成人に至り生活できる「切れ目のない」福祉サービス事業所の開設に向けた調査・検討

下記図の既存事業の拡大による他事業展開と社会的課題を解決できうる事業の水平展開を図っていく予定であります。



⑦障害の有無に関係なくすべての人々が安心して暮らすことのできる地域社会の実現に向けた啓発事業の開催

年度前半においては、世界自閉症啓発デー記念公開講座に始まり、今年度初めて青年層のSST※注1啓発事業としての講座、さらに恒例の夏の遠足、今年度で第2回目となる「楽しい子育てカフェ」により障がいを持つお子様と家族への療育機会の提供と家族間のネットワーク化を図りながら学習する機会に恵まれました。

しかしながら、年度後半においては新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、集合型の行事の開催ができなくなりました。今後についてはリモートソフト等を使ったテレワーク型行事等に転換していく方針です。

注1: ソーシャルスキル・トレーニング (SST) 社会で人と人とが関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練

令和元年度実績

- ① 平成31年度世界自閉症啓発デー記念公開講座
日時 平成31年4月3日 午前10時00分～正午
場所 奥州市文化会館2ホール
演題 「発達障がいの子どもの伸ばす魔法の言葉」
講師 自閉症療育アドバイザー(水沢出身) shizu 氏
実績 103名
- ② 令和元年度第一回保護者会合同事業
日時 令和元年9月29日 午前10時00分～正午
場所 奥州市文化会館2ホール
演題 「思春期における障がい児の性」について。
講師 鹿野佐代子氏(ファイナンシャル・プランナー、終活アドバイザー)
NPO法人 輝HIKARI 代表理事 金子 訓隆 氏
実績 122名
- ③ 令和元年度第二回保護者会合同事業
日時 令和元年7月7日 午前8時00分～午後4時30分
内容 岩手ひだまり会保護者会バス遠足
場所 二戸郡一戸町奥中山 岩手県立児童館いわて子どもの森
実績 利用児・者、その保護者、ひだまり会職員 118名
- ④ 令和元年度療育啓発事業 第2回子育てカフェ
開催日 令和元年9月14日・28日・10月6日・19日・11月9日
場所 奥州市水沢 カフェ UNMA(ウンマー)
内容 ペアレントトレーニング(障がいを持つ保護者を対象とした療育方法の勉強会と懇親会)
実績 4家族
- ⑤ 令和元年度療育啓発事業 第1回・第2回子育てカフェ・フォローアップ研修
開催日 令和2年1月25日・2月4日・2月15日
場所 カフェ UNMA(ウンマー)
内容 第1回・第2回受講家族へのフォローアップ研修
実績 5家族
- ⑥ 奥州市・北上市クリスマス会
○北上地区クリスマス会
開催日 令和元年度12月7日
場所 飯豊地区交流センター
実績 98名

○奥州地区クリスマス会
開催日 令和元年度12月7日
場所 江刺コミュニティーセンター
実績 290名

⑧ 職員が子育てをしながら働ける環境づくりにむけた小規模保育事業所開設に向けた調査・検討

職員確保、職員の福利厚生等の向上を目的に平成29年度より重点項目としていましたが、本施設は新拠点の一面に開設する当初予定であったことから、新拠点開設に至った場合の検討事項となっています。

(2) 質の高いサービスができる人材の育成に向けて

① 職員参画による研修委員会等による計画的な人材育成

令和元年度においては、恒例の第7回「一人一研究」発表会を主軸として、研修委員が中心となって事業所内研修の実施に至りました。昨今の課題としては「業務に目に見えて反映されない」外部研修に受講させていた経過があります。これについては人的コストが大幅にかかり事業所シフトも組めない矛盾が発生していました。さらに費用対効果についても推し測れないと考えられることから令和2年度は1/3コストカットを目標として伝達研修と個人研修計画の策定を行い、現場に確実に反映されるアウトプット型(実行型)研修体制の構築に努めます。

② 新任・中堅・リーダー・管理者等のキャリアパスに対応した人材育成と評価

令和元年度においては、新人職員研修、管理者研修のみの実施でした。各階層にあった研修を内部で受けさせるために、次年度はリモートソフト等を活用した研修体制の構築に努めます。また、評価については、年1回の面接評価等にて昇給等に適正に反映できるよう引き続き進めます。

③ 各種委員会による人権擁護、虐待防止、災害等に対する取り組み

平成27年度から職員参加による各種委員会の運営を続けています。徐々にではありますが、虐待防止の視点に立った適切な接遇も標準化されてきました。また車両事故についてドライブレコーダーの設置と危険運転通知システムの活用で徐々にではありますが事故の発生は予防できているものと思われれます。

しかしながら、未だ改善に繋がっていないインシデント(事故の前兆案件)もあり引き続き研修等の充実を図り改善に繋げていく予定です。

④ 保育士・社会福祉主事・介護福祉士等専門資格等の取得支援

令和元年度において国家資格取得者は0名、民間資格は介護職員初任者研修修了者1名、自閉症スペクトラム支援士3名のみで、まだまだ専門性の高い支援者養成には至っておりません。

そのため基礎資格、国家資格等に係る経費を法人が負担し資格取得支援となる新たな制度を設置しました。

・資格取得状況

福祉関連資格	人数(名)	医療・教育関連資格	人数(名)
保育士	15	看護師	1
社会福祉士	6	准看護師	2
介護福祉士	10	特別支援学校教員免許	1
施設福祉士	1	養護教諭	0
社会福祉主事	11	教員免許	3
ヘルパー2級	7	幼稚園教諭	1
介護職員初任者研修	5	人員配置基準資格保有率	52.13%
児童指導員	28	国家資格保有率	34.04%
基礎資格無し	31	資格保有率	67.02%

*複数保持者については人員配置基準資格を優先し記載

・複数資格取得者

精神保健福祉士	1	介護職員初任者研修	1
居宅介護支援専門員	5	知的障害者福祉司	2
幼稚園教諭	9	児童厚生二級指導員資格	1
認定心理士・心理判定員	1	身体障害者福祉司	2
社会福祉主事	7	中学校教諭	2
ヘルパー2級	3	高等学校教諭	2

⑤ サービス提供を行う職員間のネットワーク化

月1回の所長・児童発達支援管理責任者等出席の「連絡調整会議」は規模が大きくなり、単なる実績報告会になったため、令和元年度においては、参集範囲と役割分担を明確に分離し、所長会議と児発、主任会議と分けた結果、役割分担が明確となりスムーズに連絡調整体制の構築となりました。

特にも児発、主任会議については複写式連絡帳の開発を一年に渡って検討し現場の意見が反映されたツール（連絡帳）ができた事は大きな成果でした。これに倣い、引き続き児発、主任会議の自発的な会議運営を令和2年度においても取り組みます。

⑥ 一人一研究に取り組み、職員の気づきを促す発表会の開催

平成30年度より一般参加として保護者会と第三者委員等新たに参加をしてもらい、発表内容においても少しずつではありますが成果が見られていましたが、令

和元年度においては新型コロナウイルス感染拡大により延期となりました。今後衛生管理を徹底し新たにリモートソフト等をつかった発表会を試験的に実施していく予定です。

また、令和30年度からの懸案事項であったグループ研究、個人発表の順位評価、報奨金の設定等研究体制を再度協議し推進に努めます。

⑦ 保護者と共に学ぶ機会の提供

一人一研究発表会への保護者招待、職員研修においても保護者の参加等を促し、少しずつではありますが成果を得ています。また、新たに「楽しい子育てカフェ(ペアレントトレーニング)講座」を開設し4家族とともに学びあう機会の提供ができました。

⑧ 日本自閉症スペクトラム学会・ポーターズ協会、(株)リタリコ等専門機関の活用

平成30年8月18日～19日に岩手県で開催した自閉症スペクトラム学会第17回研究大会事務局として参加者800名と盛会裏に終わりました。

本学会と関係を良好に保ちながら自閉症スペクトラム支援士やポーターズ協会等研究機関・関係機関との連携を保ち、「学術的に検証された根拠に基づいた支援」の構築と資格取得の推進により職員の専門性が高められる環境づくりに繋がっていきます。

(3) 適正な法人運営のための取り組み

- ①内部統制の強化(内部監査の実施)
- ②財務規律の強化(公認会計士による監査の実施)
- ③定款・諸規定・諸規則等の見直しと整備

令和元年度実施の事業所実地指導等において、新たに事務手続きに係る不備について指導を受けました。これにより引き続き次年度課題として、公認会計士顧問等の専門家等の指導により一層の業務改善に取り組みます。

④事業運営の透明性の向上(広報、ホームページを活用した情報公開と情報発信)

令和元年度においては、ホームページ等の活用により、関係機関の評価及び採用に係る効果が見られました。しかしながら、今後現在の閲覧媒体がスマートフォン及びSNS主体となりつつありホームページは今後それら媒体に合わせる必要があります。

⑤中長期経営計画策定委員会を設置し、計画的な事業運営と資金計画の策定

未実施に至りました。(1) 地域で必要とされるサービスの提供の⑦の構想図をもとに次年度検討事項で行います。

⑥福祉サービス第三者評価受審に向けた取り組み

未実施にいたりました。次年度検討事項です。

Ⅲ. 理事会・評議員会行事等の開催状況

1. 役員等の状況

定款上の定数 (理事： 6人、監事：2人、評議員： 8人)

(1)理事

役職名	氏名	職業・会社名等	役員の資格等 (該当する欄に○)					役員資格 等に係る 職名等	現任期 平成 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
			学 識 経 験 者	地 域 福 祉 関 係 者	施 設 長 等	そ の 他	財 務		
理事長	高橋洋子	理事長		○				社会福祉事業を行 う団体の役職員	平成31年4月1日～令 和3年の定時評議員会 終結の日
常務理事	大沼一裕	常務理事(平成 29年3月31日 就任)		○				社会福祉事業を行 う団体の役職員	平成31年4月1日～令 和3年の定時評議員会 終結の日
理事	菅原憲雄	社会福祉法人岩 手ひだまり会ひ だまり水沢橋町 管理者	○					医師、保健師、看護 師等保健医療関係 者	平成31年4月1日～令 和3年の定時評議員会 終結の日
理事	及川幸子	保護者会		○				親の会の民間社会 福祉団体の代表者	平成31年4月1日～令 和3年の定時評議員会 終結の日
理事	尾山恒夫	社会福祉法人 岩手ひだまり会 多機能型事業所 ひだまり水沢森 下管理者			○			社会福祉事業を行 う団体の施設長	平成31年4月1日～令 和3年の定時評議員会 終結の日
理事	千葉昭好	社会福祉法人 岩手ひだまり会 北上中央管理者			○			社会福祉事業を行 う団体の施設長	平成31年4月1日～令 和3年の定時評議員会 終結の日

監事	及川章吉	社会福祉法人 美楽会いこいの 森施設長	○						公認会計士、税理士、弁護士等専門知識を有する者	平成31年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
監事	大谷直子	手をつなぐ 育成会				○			親の会の民間社会福祉団体の代表者	平成31年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日

2. 評議員

氏名	職業 会社名等	資格等 (該当する欄に○)					左記資格等に 係る職名等	現任期 平成 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
		学識 経験者	地域 福祉 関係者	利用 者	その他	財務		
小澤盛彌			○				社会福祉事業又は社会福祉関係の行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
鎌田卓也	代表取締役・鎌田段ボール工業株		○				自治会、町内会、婦人会及び商店会等の役員	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
古川守人			○				自治会、町内会、婦人会及び商店会等の役員	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
千葉光夫	民生児童委員		○				民生委員・児童委員	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
島津愛郎	社会福祉法人職員	○					社会福祉法人又は社会福祉関係行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
千田光久	大学員教授	○					社会福祉法人又は社会福祉関係行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日
岩淵秀夫	団体職員	○					公認会計士、税理士、弁護士等専門知識を有する者	平成29年4月1日～令和3年の定時評議員会終結の日

菊池恵美子	保護者会	○				社会福祉法人又は社会福祉関係行政に従事した経験を有する者	平成29年4月1日 ～令和3年の定時評 議員会終結の日
-------	------	---	--	--	--	------------------------------	-----------------------------------

3. 理事会・評議員会の開催実績

(1) 理事会

開催年月日	出席者/ 総数	議題	欠席者	監事出席 有無
令和元年 6月6日	4/6	令和元年第1回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 審議事項 議案第1号 平成30年度事業報告並びに決算について 議案第2号 就業規則の一部改正について 議案第3号 臨時職員取扱規程の一部改正について 議案第4号 第三者委員の選任について 議案第5号 令和元年度定時評議員会の招集について 議案第6号 理事、監事候補者の選任について	向山晃 伊藤恵美	大谷直子 及川章吉
令和元年 6月21日	4/6	令和元年度第2回理事会 審議事項 議案第1号 理事長及び常務理事の選定について	向山晃 伊藤恵美	大谷直子 及川章吉
令和元年 8月27日	6/6	令和元年度第3回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 重症児デイサービス開設事業新捗状況について 審議事項 議案第1号 ひだまり北上にこっと所長(管理者)の選任について 議案第2号 就業規則の一部改正について	なし	大谷直子 及川章吉

<p>令和元年 11月25日</p>	<p>6/6</p>	<p>令和元年度第4回理事会</p> <p>報告</p> <p>報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>報告第2号 重症児デイサービス開設事業進捗状況について</p> <p>報告第3号 令和元年度障がい福祉サービス実地指導について</p> <p>審議事項</p> <p>議案第1号 第一次補正予算について</p> <p>議案第2号 重症児デイサービス開設について</p> <p>議案第3号 重症児デイサービス開設に係る運営規程の制定について</p> <p>議案第4号 就業規則の一部改正について</p> <p>議案第5号 日中一時支援事業運営規程の改正について</p> <p>議案第6号 第1回臨時評議委員会開催について</p>	<p>なし</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>
<p>令和元年 12月15日</p>	<p>6/6</p>	<p>令和元年度第5回理事会</p> <p>報告</p> <p>報告第1号 令和元年度業務監査報告について</p> <p>審議事項</p> <p>議案第1号 ひだまり☆きらり開設に係る諸規定の改正について</p> <p>議案第2号 第2回臨時評議委員会の開催について</p>	<p>なし</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>

<p>令和2年 1月31日</p>	<p>6/6</p>	<p>令和元年度第6回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 報告第2号 令和元年度障害福祉サービス事業者等の実地指導結果の報告について 審議事項 議案第1号 令和元年度障害福祉サービス事業者等の実地指導是正改善内容について</p>	<p>なし</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>
<p>令和2年 3月11日</p>	<p>6/6</p>	<p>令和元年度第7回理事会 審議事項 議案第1号 評議員会開催の件 (書面表決)</p>	<p>なし</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>
<p>令和2年 3月27日</p>	<p>5/6</p>	<p>令和元年度第8回理事会 報告 報告第1号 理事長及び常務理事の職務執行状況について 審議事項 議案第1号 令和元年度補正予算(案)について 議案第2号 令和2年度事業計画(案)について 議案第3号 令和2年度収支予算(案)について 議案第4号 多機能型事業所ひだまり江刺岩谷堂就労継続支援B型工賃支給規程の一部改正について 議案第5号 管理者任命について</p>	<p>及川幸子</p>	<p>大谷直子 及川章吉</p>

(2) 評議員会

開催年月日	出席者/ 総 数	議題	欠席者	監事出席 有無
令和元年 6月21日	6/8	定時評議員会 審議事項 議案第1号 理事及び監事の選任について 議案第2号 平成30年度事業報告並びに決算について	千葉光夫 岩瀬秀夫	大谷直子 及川章吉
令和元年 12月15日	6/8	第1回臨時評議員会 報 告 第1回臨時評議員会 報告第1号 重症児デイサービスの開設について 報告第2号 令和元年度障害福祉サービス実地指導について 審議事項 議案第1号 令和元年度補正予算(第1号)について	千田光久 菊池恵美子	大谷直子 及川章吉
令和2年 1月31日	5/8	第2回臨時評議員会 報 告 報告第1号 令和元年度障害福祉サービス事業者等の実地指導結果及び是正改善内容について	鎌田卓也 千田光久 岩瀬秀夫	大谷直子 及川章吉
令和2年 3月27日	6/8	第3回臨時評議員会 審議事項 議案第1号 令和元年度補正予算(案)について 議案第2号 令和元年度事業計画(案)について 議案第3号 令和元年度収支予算(案)について	小澤盛彌 鎌田卓也	大谷直子 及川章吉

4. 理事会・評議員会の出席状況

(1) 理事会

役職	氏名	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
理事長	高橋 洋子	○	○	○	○	○	○	書面表決	○
常務理事	大沼 一裕	○	○	○	○	○	○	書面表決	○
理事	菅原 憲雄	○	○	○	○	○	○	書面表決	○

理事	尾山 恒夫	○	○	○	○	○	○	書面表決	○
理事	千葉 昭好	○	○	○	○	○	○	書面表決	○
理事	及川 幸子	—	○	○	○	○	○	書面表決	●
監事	大谷 直子	○	○	○	○	○	○	書面表決	○
監事	及川 章吉	○	○	○	○	○	○	書面表決	○

● 欠席

(2)評議員会

役職	氏名	定時評議員会	第1回	第2回	第3回
評議員	小澤 盛彌	○	○	○	●
評議員	鎌田 卓也	○	○	●	●
評議員	古川 守人	○	○	○	○
評議員	千葉 光夫	●	○	○	○
評議員	島津 愛郎	○	○	○	○
評議員	千田 光久	○	●	●	○
評議員	岩淵 秀夫	●	○	●	○
評議員	菊池恵美子	○	●	○	○
監事	大谷 直子	○	○	○	○
監事	及川 章吉	○	○	○	○

● 欠席

5. 監査報告

(1)岩手県社会福祉法人指導監査実施報告

実施月日	場所	監査者・対応者	指摘事項
実施なし			

(2)岩手県障害福祉サービス事業者等の実地指導報告

実施月日	対象事業所	監査者・対応者	指摘事項
令和元年12月17日	ひだまり江刺岩谷堂 (放課後等デイサービス、就労継続支援B型)	監査者 県南広域振興局 保健福祉環境部 主幹兼指導監査課長 前田康夫 主査 小川公子 主事 佐々木夏希 監査指導専門員 山本志都子 対応者 法人本部 理事長 高橋洋子 事務局長 鈴木偉作	1. 就労支援事業活動増減差額591,016円について、就労継続支援事業者は生産活動に係る事業収入から、生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払わなければならないので、所要の措置を講じる事。

		財務課長 及川敏弘 総務課 佐藤海流 ひだまり江刺岩谷室 所長 菊池美紀 児童発達支援管理責任者 福山博美 就労課課長 川村修	
--	--	---	--

(3)法人定期監査実施報告

① 出納監査

四半期毎の出納状況・会計処理の監査

	監査名	月日	場所	監査人
1	決算監査 令和元年度決算	令和2年5月27日	法人本部	監事 大谷 直子 監事 及川 章吉

② 事業監査

監事内部統制質問書による監査

	調査・指導者	月日	場所	監査人
1	事業監査	令和元年9月18日・19日・24日・26日・27日 10月2日	全事業所	監事 大谷 直子 監事 及川 章吉

6. 主な事業内容

(1)拠点数・事業数

市町村	地区	拠点数	社会福祉事業	公益事業	計
奥州市	水沢	4 拠点	5 事業	4 事業	9 事業
	江刺	3 拠点	4 事業	3 事業	7 事業
	胆沢	1 拠点	1 事業	1 事業	2 事業
北上市		2 拠点	3 事業	2 事業	5 事業
計		10 拠点	13 事業	10 事業	23 事業

(2)社会福祉事業

①児童福祉法サービス

市町村	地区	放課後等デイサービス事業
奥州市	水沢	3 事業
	江刺	3 事業
	胆沢	1 事業
北上市		2 事業
計		9 事業

②障がい者総合支援法サービス

市町村	地区	事業名	事業数
奥州市	水沢	生活介護支援事業	1 事業
		相談支援事業	1 事業
	江刺	就労継続支援B型事業	1 事業
北上市		相談支援事業(休止中)	1 事業
計	4 地区		4 事業

(3) 公益事業

日中一時支援事業(奥州市・北上市・金ヶ崎町・矢巾町・福島市委託事業)

市	地区	事業名	事業数
奥州市	江刺	日中一時支援事業	3事業
	水沢	〃	4事業
	胆沢	〃	1事業
北上市		〃	2事業
計	4地区		10事業

(4) 事業所構成

基準日 令和2年3月31日

No	事業所名	事業内容	事業内容(受託・補助事業・他)	平成30年度	令和元年度
1	ひだまり江刺桜木	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	9名	8名 (兼1)
2	多機能型事業所 ひだまり水沢森下 (児童課・生活介護課)	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業 福島市障害者等日中一時支援事業	8名 (兼1)	9名
		生活介護事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業 矢巾町日中一時支援事業	7名 (兼1)	7名 (兼1)
3	多機能型事業所 ひだまり江刺岩谷堂 (児童課・就労課)	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業	6名 (兼1)	7名 (兼1)
		就労継続支援B型事業所		4名 (兼1)	5名 (兼1)
4	ひだまり江刺第二桜木	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	6名	6名
5	ひだまり水沢駅東	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	8名	7名 (兼1)
6	ひだまり水沢横町	放課後等デイサービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	8名	7名

7	相談支援事業所 ひだまり	特定相談支援 事業 障害児相談支 援事業 一般相談支援 事業	奥州市障害者等相談支援事業 金ヶ崎町相談支援等事業	2名	3名
8	ひだまり胆沢	放課後等デイ サービス事業	奥州市障害者等日中一時支援事業 金ヶ崎町障害者等日中一時支援事業	7名	6名
9	ひだまり北上中央	放課後等デイ サービス事業	北上市日中一時支援事業	10名 (兼1) (休1)	10名 (休1)
10	ひだまり北上にこっと	放課後等デイ サービス事業	北上市日中一時支援事業	9名 (休2)	9名 (休1)
11	相談支援事業所 ひだまり北上	特定相談支援 事業 障害児相談支 援事業	北上市市障害者等相談支援事業	休止中	休止中
12	法人本部	法人運営事業		役員2名	役員2名
				7名 (兼1) (休1)	7名 (兼1) (休1)
	計	91名	内 訳	役員2名	役員2名
				91名 (兼6) (休4)	93名 (兼6) (休3)

(5) 広 報 ・ ホ ー ム ペ ー ジ

①法人広報誌の発行

- ・発行回数 3回 5月 9月 2月
- ・発行部数 約700部 総発行部数 2,100部
- ・配布先 関係機関・高等学校・養護学校・小学校・中学校・児童センター・幼稚園・保育所等

②各事業所おしらせ版の発行

- ・配布先 利用者・保護者・その他
- ・発行回数 各事業所 12回 総発行部数 3,024部

③ホームページ

- ・開設日 平成23年1月27日
- ・閲覧数 今年度 241,395回
前年度 186,045回 年 55,350回
- ・事業所見学案内や新卒採用情報等、採用関係に力を入れました。
また、行事ごとの写真掲載をこまめに行い情報発信に努めました。

(6)補助金・助成金等実績

団体名	金額	事業名
奥州市社会福祉協議会	50,000円	地域歳末たすけあい地域福祉活動費配分金事業
計	50,000円	

(7)寄附金実績

①寄附金品収益明細 4件

月日	個人・団体名	寄附目的	寄附金額
令和元年6月11日	小原自動車工業(株)様	法人事業へ	500,000円
令和元年8月26日	匿名	法人事業へ	20,000円
令和元年10月4日	匿名	法人事業へ	20,000円
令和元年12月13日	東北労働金庫 岩手県本部様	法人事業へ	80,000円
計			620,000円

②寄附物品収益明細 30件 前年度19件

令和元年度 寄附金品一覧					
No	日付		寄附者	寄附目的	寄附物品
	月	日			
1	4	19	匿名	ひだまり北上中央	おもちゃ(トミカ)
2	5	10	竹内美紀様	法人	椅子20脚、座布団、タオル、クリスマスツリー、スチール棚他
3	5	24	加藤園芸様	法人	野菜・花苗
4	5	25	㈱公楽 ウインズ 奥州様	法人	お菓子詰め合わせ250個
5	5	30	匿名	ひだまり北上中央	おもちゃ(トミカ・プラレール)
6	7	4	佐藤実様	ひだまり北上中央	七夕お菓子詰め合わせ
7	8	2	匿名	ひだまり北上中央	絵本10冊
8	8	23	匿名	ひだまり北上中央	スリッパ10足
9	8	30	㈱公楽 ウインズ 奥州様	法人	お菓子詰め合わせ250個
10	11	5	大塚守男様	法人	座卓8卓、学習机2基

11	11	24	三上純一様	ひだまり北上中央	掛時計 KX608W
12	12	5	髷ホソカワ様	法人	クリスマス会用お菓子 150個
13	12	9	匿名	法人	ベッド他
14	12	19	かぎや菓子舗様	ひだまり北上中央	クリスマスケーキ5号3個
15	12	22	菊池愛美様	ひだまり水沢☆きらり	衣装ケース、文房具 他
16	12	23	匿名	ひだまり水沢☆きらり	食器一式
17	12	24	佐藤実様	ひだまり北上中央	クリスマスお菓子詰め合わせ 30個
18	12	27	髷公楽 ウインズ 奥州様	法人	お菓子詰め合わせ 250個
19	1	16	匿名	法人	本
20	1	18	匿名	法人	ホットプレート他
21	1	31	佐藤実様	ひだまり北上中央	節分お菓子詰め合わせ 30個
22	2	14	佐藤実様	ひだまり北上中央	立体不織布マスク 1箱 50枚入り× 48箱 (2400枚)
23	2	21	ひだまり保護者会 様	ひだまり水沢☆きらり	掛時計 1個
24	2	27	佐藤実様	ひだまり北上中央	ひな祭りお菓子詰め合わせ 30個
25	2	28	高梨忠様	法人	ままごとセット、知育玩具
26	3	6	匿名	法人	お菓子 160個 他
27	3	11	三上美智子様	ひだまり北上中央	消毒液1本/除菌シート
28	3	16	大谷直子様	ひだまり水沢☆きらり	掃除用モップ、まな板
29	3	16	那須薫様	ひだまり水沢☆きらり	チャイルドシート
30	3	19	高鷹あかり様	ひだまり北上中央	絵本 82冊

令和元年度

I. 事業経営

1. 児童通所支援施設

社会福祉法人岩手ひだまり会

令和元年度ひだまり江刺桜木事業報告

I. 事業報告

ひだまり江刺桜木は令和2年3月末時点で、放課後等デイサービス登録児数15名、一日平均利用8.9名と、前年度と同様の結果となりました。新規登録の利用児はありませんでしたが、既存の利用児一人ひとりの特性・年齢・成長に合わせた支援を重点に置き個別支援計画に反映させ取り組んできました。そして、一人ひとりのアセスメント※を取り、新たな取り組みを職員だけでなく保護者の意見も交えて支援に生かしてきました。

また、将来のイメージが保護者へ伝わるように情報発信の必要性を感じ、令和元年度からは、将来へつながる支援や助言について根拠をもって保護者へ発信してきました。

令和元年度の保護者に向けたアンケート調査では回収率87%でしたが、そのうち「子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか」「支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明がなされたか」の項目については100%の評価を頂きました。その一方で、「子どもは通所を楽しみにしているか」「事業所の支援に満足しているか」の質問に対して15%の保護者がどちらともいえないと回答を示していました。その結果を踏まえ、子どもたちが選択できる活動を増やし、様々な活動ができるよう職員一人ひとりの意識付けを徹底していくことが必要だと考えています。

また、職員一人ひとりが放課後等デイサービスガイドラインに基づいたサービス提供を意識し取り組んだ結果が、保護者の回答へも繋がっていると思われます。

今年度の目標として、前年度から引き続き利用者のライフステージに応じた活動を提供するとともに、利用者の未来がイメージできる情報提供をしていきます。その為にも関係機関からの情報を集め、将来に向けて行動できる取り組みを実現できるよう専門性をより高めていきたいと思えます。

※アセスメント…利用者の基本情報の収集と分析。利用者の情報を集め、その人の行動の背景を分析し支援に役立てること。

1. 成果の詳細

利用児一人ひとりのアセスメントを丁寧に取り、個性を大切にしながら一人ひとりのスモールステップを見つけ、個別支援計画に反映させ支援を行ってきました。その取り組みが1年間を通し目に見える成果に繋がっていったと考えます。また、保護者へ支援の内容や成果をフィードバックすることで保護者の評価に繋がりました。

2. 課題の詳細と改善目標

・令和元年度は新規利用児の情報収集ができず、利用登録児数増加へ繋がりませんでした。既存利用児の成長に伴い、新規利用児の獲得の必要性があるため、相談支援事業所や幼児教室などからの情報収集に努めます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士		1		1
児童指導員	2	3	(1)	3
指導員		2		2
合計	4	7	1(1)	8(1)

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス

区分	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男				1	1			3	1	1	1		1	9
女					2	1	1	1	1					6
計				1	3	1	1	4	2	1	1		1	15

(2) 日中一時支援事業

区分	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳
男			1			3	1	1	1		1		2
女			2	1	1	1	1						
計			3	1	1	4	2	1	1		1		2

区分	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	計
男	2			1			13
女	2		1	2		1	12
計	4		1	3		1	25

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	3	10					1	
女	1	8					2	
計	4	18					3	

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	6	3					9
女	2	3			1		6
計	8	6			1		15

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。
 (1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要
 (2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	9	0	9	100%
女	5	0	5	100%
計	14	0	14	100%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	0	0	0
女	1	0	0	1
計	1	0	0	1

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	29	266	9.2	199
5月	29	257	8.9	246
6月	30	252	8.4	250
7月	29	262	9.1	200
8月	23	202	8.8	141
9月	25	253	10.1	238
10月	27	264	9.8	276
11月	30	247	8.2	258
12月	29	241	8.3	247
1月	28	255	9.1	226
2月	29	242	8.3	256
3月	21	183	8.7	28
合計	329	2924	8.9	2565

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数 (日)	延人数 (人)	平均利用者数 (人)	送迎回数 (回)
4月	29	105	3.6	0
5月	29	100	3.4	0
6月	30	117	3.9	0
7月	29	105	3.6	0
8月	23	91	4.0	0
9月	25	110	4.4	0
10月	27	96	3.5	0
11月	30	99	3.3	0
12月	29	120	4.1	0
1月	28	102	3.6	0
2月	29	95	3.3	0
3月	21	62	3.0	0
合計	329	1202	3.7	0

(3)通学支援事業（朝送迎）

月	提供日数（日）	延人数（人）	平均利用者数（人）	送迎回数（回）
4月	15	95	6.3	15
5月	19	120	6.3	19
6月	20	129	6.4	20
7月	17	104	6.1	17
8月	11	62	5.6	11
9月	19	119	6.2	19
10月	22	164	7.4	22
11月	19	140	7.3	19
12月	20	126	6.3	20
1月	16	102	6.3	16
2月	18	134	7.4	18
3月				
合計	196	1295	6.6	196

（※3月はコロナウイルス感染予防として学校が休業処置をとったため朝送迎なし）

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事・その他	個別活動
4	・スキル遊び ・手洗い運動	・昼食作り ・避難訓練 ・グループ活動（買い物）	・リトミック ・音楽療法 ・リズム体操	・読み聞かせ ・塗り絵 ・粘土遊び	・ドライブ（花見）	
5	・花のお世話 ・ラジオ体操 ・手洗い運動	・グループ活動（外食） ・誕生会	・音楽療法 ・DVD鑑賞	・制作（てるてる坊主） ・読み聞かせ		
6	・花のお世話 ・手洗い運動	・グループ活動（外出） ・誕生会	・音楽療法 ・風船遊び	・読み聞かせ ・七夕制作 ・塗り絵		
7	・花のお世話 ・手洗い運動	・クリーン作戦 ・避難訓練 ・グループ活動（買い物）	・リズム体操 ・運動 ・音楽療法 ・ゴム跳び	・制作 ・塗り絵 ・読み聞かせ	・七夕祭り ・水遊び ・昼食会	

8	・お花のお世話 ・昼食作り ・大掃除	・おやつバイキン グ ・誕生会	・音楽療法 ・リズム体操 ・ゴム跳び	・塗り絵 ・制作	・夏祭り	
9	・スキル遊び ・手洗い運動	・誕生会 ・避難訓練（水 害）	・音楽療法 ・リズム体操 ・ゲーム遊び	・塗り絵	・グループ活動 （パンを買いに 行く）	
10	・お当番活動 ・手洗い運動	・誕生会 ・お当番活動	・リズム体操 ・ゲーム（魚的 り）	・読み聞かせ ・塗り絵 ・制作	・ハロウィンパ ーティー	
11	・手指運動	・非常食体験 ・おやつバイキン グ	・風船遊び ・リズム体操 ・音楽療法	・制作 ・塗り絵	・芸術発見学 ・親子制作体験	
12	・手洗い運動 ・大掃除	・おやつバイキン グ	・リズム体操 ・音楽療法 ・運動	・制作（クリス マス会用） ・	・ミニクリスマ ス会	
1	・昼食作り（すい とん） ・クリーン作戦	・ゲーム遊び ・誕生会	・音楽療法 ・運動	・読み聞かせ ・制作（雪だる ま）	・書初め ・正月遊び ・みずき飾り	
2	・クリーン作戦	・風船遊び ・おやつバイキン グ	・リズム運動 ・音楽療法 ・ゴム跳び	・ひな祭り制作 ・塗り絵	・節分 ・バレンタイン	
3	・お当番活動 ・手洗い運動	・宝さがしゲーム ・おやつバイキン グ	・ラジオ体操 ・リズム体操	・塗り絵 ・春の制作	・ひな祭り ・お楽しみ会	

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

ひやりはっとについては利用児の予期せぬ行動、突発的行動がほとんどでした。現場検証を行い、居場所の工夫や職員の立ち位置など職員間での配慮を検討し周知しています。また、職員関係のひやりはっととして配布物の間違いについては、個人情報の観点からもより一層の確認が必要となっています。

事故について車両事故となります。

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	3件	0件	0%
5月	1件	0件	0%
6月	1件	0件	0%

7月	2件	1件	50%
8月	2件	0件	0%
9月	1件	0件	0%
10月	0件	0件	0%
11月	0件	1件	0%
12月	2件	0件	0%
1月	2件	0件	0%
2月	1件	0件	0%
3月	0件	0件	0%
計	15件	2件	13%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	1件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	1件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、利用児状況の確認、ひやりはっつの原因・対策検討、伝達研修、活動計画の確認と周知、次月の業務確認等を行いました。更に、事業所内研修に取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し、統一した支援方法の確認を行いました。特に身辺自立やコミュニケーション支援に力を入れた内容で取り組みました。

2. 職員研修実施状況

令和元年度においては外部研修への参加は少なかったのですが、内部研修に力を入れ、日々の自分達に関わる職務についての研修に重点を置いて取り組みました。また、特定の職員だけでなく、各職員が調べ伝達するという形をとる事で、意識を深く持って取り組む事ができました。

次年度においては各職員のスキルにあった研修への参加を目指していきます。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	平成31年度事業計画について	・事業計画書を使用しての伝達研修
5月	放課後等デイサービス・日中一時支援事業について	・契約書、重要事項説明書、サービス形態について伝達研修
6月	リスクマネジメントについて	・事故防止と事故発生時の対応・危機管理について職員間で確認
7月	虐待防止・身体拘束禁止について	・人権擁護の取り組みの確認
8月	接遇について	・利用者・保護者への対応について確認
9月	個別支援計画について	・モニタリングの取り組み、流れについて資料を用いて伝達研修
10月	障がい理解について	・それぞれの障がいについて伝達研修
11月	感染症予防について	・感染症の知識と対応について感染症予防マニュアルでの読み合わせと確認
12月	交通事故防止について	・感染症予防マニュアル読み合わせと確認
1月	利用者支援について	・専門的な支援に関して職員からの伝達研修
2月	家族支援について	・資料を基に職員間で検討し対応について確認

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
7月	・第2回 自閉症学習会	・いわて自閉症センター
8月	・第3回 自閉症学習会 ・自傷行為の理解と援助に関する研修会	・いわて自閉症センター ・岩手県奥州保健所
9月	・第4回 自閉症学習会	・いわて自閉症センター
10月	・OJT研修～職場で取り組む人材育成 ・日本自閉症スペクトラム学会 東北支部第7回資格認定講座	・岩手県社会福祉事業団 ・日本自閉症スペクトラム学会
1月	・第5回 自閉症学習会	・いわて自閉症センター

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
4月2日（火）	危険箇所の点検 避難経路の確認 利用者名簿の確認 非常持出の点検	東日本大震災規模による災害	利用者 12名 職員 6名
7月25日（木）	消火器の点検 避難経路の点検 通報訓練	コンロからの火災	利用者 9名 職員 5名
9月20日（金）	迅速な非難 情報収集	北上川氾濫による 浸水	利用者 10名 職員 5名
2月22日（土）	消火器の点検 避難経路の点検 通報訓練	地震からの火災	利用者 8名 職員 4名

（※初期消火訓練 4月25日（木）職員 6名）

令和元年度ひだまり江刺岩谷堂児童課事業報告

I. 事業報告

ひだまり江刺岩谷堂児童課は令和2年3月末時点、登録児数22名(年度当初24名)、1日平均利用9.7名(利用率97%。年度目標90%)でした。前年度は登録25名、1日平均7.4名(利用率74%)であり、新規契約6名の受け入れがこのような結果に繋がりました。年度当初は新規6名(全員1年生)に対する支援の確立に職員にも戸惑いがありました。情報収集、共有等職員間の連携を強化したことで早期に安定した生活環境を作ることができました。併せて関係機関との連携強化にも努め、行政との連携は継続的に取れていたと感じますが、学校関係との連携は、学校教諭の異動に伴う体制変化により、これまで継続していた連携がうまくいかない場面もありました。相手方の状況把握をすると共に、受け身の姿勢ではなく、こちらからの発信が重要になっていくと感じています。

日々の支援では、個別目標の経過を統一見解で把握していけるよう記録の整備等、再確認をしています。活動では昨年度同様に音楽療法や地域のクリスマスコンサート参加と連動させた「音遊び」をクリスマス会での発表を目標に年間を通して取り組み、その練習の成果をステージ上で立派に発表することができました。しかし、残念なことに今年度は2件の事故報告をあげています。1件は利用児の飛び出し、1件は利用児の怪我と重大な案件となっています。これについては利用児の特性、支援体制の振り返り、改善方法を全職員で繰り返し検討、確認を行い二度と同じ事態を招かないよう努めています。

毎年実施しているアンケート調査では、保護者向けアンケートは回収率78.9%(前年74%)で、そのうち約90%(76%)の方が岩谷堂児童課の事業内容や支援に理解を示す回答となり、懇談会開催や日々のコミュニケーションの成果が得られたと感じています。「事業所の支援に満足しているか」については93%(71%)の評価を頂きましたが、この結果に甘んじることなく、さらなる向上を目指すよう努めます。

また、職員によるアンケートを集約すると、依然として地域との交流について試行錯誤をしている状態です。ただ、今年度は地域の中高生ボランティアや職場体験の受け入れを積極的にを行い、関わりの機会を得たことは小さな成果だと思っています。

以上のことをまとめ次年度も今年度同様に関係機関との連携強化を継続すること、職員の資質向上を目指し、専門性のある一貫した支援に繋げること、安心してご利用頂けるよう利用児童、家族との信頼関係構築を目指します。また、地域との交流については情報収集等を行い、実現に向けて取り組んでいきます。

1. 成果の詳細

- ・行政との連携が継続され、情報交換等がスムーズに行われています。
- ・保護者懇談会『茶ットの会』を年3回開催。保護者が送迎以外に事業所に足を運ぶ機会を設けたことにより、信頼関係の構築や職員との距離が早い段階で縮まったと感じます。お父さん方の送迎対応も増えてきていると感じます。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・新規利用者獲得の情報収集がうまくできていない状況です。子育て支援センターや幼児教室、保育所・幼稚園の情報を相談支援専門員と連携を取り、収集していく必要があります。
- ・学校との連携強化を図り、安定した支援に繋がるよう努めます。
- ・活発な地域交流ができるよう取り組みを行います。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日 (但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成 (R2.3.31現在)

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士		1		1
児童指導員	2	4		4
指導員				
合計	4	6	1	7

5. 利用者の状況 (R2.3.31現在)

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	18歳	19歳	計
男	4	2	2	2	2	2	0	1	0	1	1	1	18
女	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
計	6	2	3	2	2	2	0	1	0	1	2	1	22

(2) 日中一時支援事業

区分	4歳	5歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	16歳	18歳	19歳	20歳	21歳	計
男	1	1	4	2	2	1	2	3	0	4	1	1	1	1	2	26
女	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	6
計	1	1	6	2	3	1	2	3	0	4	1	2	1	2	3	32

(3) 地域別利用者数(日中一時含)

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	7	20					0	
女	0	5					1	
計	7	25					1	

(4) 障害種別(重複あり)

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	15	17	0	2	0	0	34
女	3	4	0	0	0	1	8
計	18	21	0	2	0	1	42

(5) 指標該当区分(4月時点の人数)

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定(更新含む)の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。

(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要

(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率(該当/登録児童)
男	6	14	20	30%
女	0	4	4	0%
計	6	18	24	25%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	0	0	0
女	0	0	0	0
計	0	0	0	0

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	29	315	10.8	234
5月	29	278	9.5	270
6月	30	305	10.1	300
7月	31	313	10.0	268
8月	27	253	9.3	154
9月	30	271	9.0	270
10月	30	294	9.8	296
11月	30	289	9.6	287
12月	29	282	9.7	258
1月	28	250	8.9	178
2月	29	265	9.1	249
3月	22	235	10.6	74
合計	344	3350	9.7	2838

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	29	58	2	5
5月	29	49	1.6	1
6月	30	59	1.9	3
7月	31	48	1.5	0
8月	27	50	1.8	1
9月	30	51	1.7	1
10月	30	39	1.3	0
11月	30	50	1.6	1
12月	29	44	1.5	1
1月	28	42	1.5	2
2月	29	53	1.8	0
3月	22	11	0.5	1
合計	344	554	1.6	16

(3) 通学支援事業 (朝送迎)

月	提供日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	15	15	1	15
5月	16	16	1	16

6月	20	20	1	20
7月	15	15	1	15
8月	9	9	1	9
9月	18	18	1	18
10月	19	19	1	19
11月	17	17	1	17
12月	16	16	1	16
1月	11	16	1	16
2月	15	11	1	11
3月	0	0	1	0
合計	171	171	1	171

7. サービス提供内容

スキル(個別支援)は週毎にその経過を職員間で確認し、ステップアップのタイミングや支援内容の検討を重ね、取り組みました。

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別活動
4	昼食作り おやつ作り おやつハイキング	自己紹介をしよう SST 訓練	音楽療法・音遊び ひだまりレース リズム体操・ゲーム	制作(こどもの日) 母の日プレゼント	誕生会 お花見	スキル 当番活動
5	おやつビンゴ おやつ作り	外出(平泉) 避難訓練 グループ活動	音楽療法・音遊び リズム体操 ゲーム・DVD鑑賞 レクリエーション	制作(6月に壁画) プリント	誕生会	スキル 当番活動
6	おやつ作り	クリーン作戦 グループ遊び 買い物体験 思い出ニュース	音楽療法・音遊び レクリエーション ゲーム・リズム体操 ひだまりレース	父の日プレゼント プリント		スキル 当番活動
7	おやつ作り おやつビンゴ	グループ活動 避難訓練 思い出ニュース 外出(花巻空港)	音楽療法・音遊び 運動 ストラックアウト	制作(梅の生き物) プリント	誕生会	スキル 当番活動
8	昼食作り	外出(滝) グループ遊び SST 訓練 事業所交流	音楽療法・音遊び 水遊び・ゲーム DVD鑑賞	制作(十五夜) プリント	誕生会	スキル 当番活動

9	おやつ作り おやつバイキング	事業所交流 思い出ニュース	音楽療法・音遊び 運動・ゲーム レクリエーション	制作(敬老の日) プリント	誕生会	スキル 当番活動
10	昼食作り おやつ作り	外食 避難訓練	音楽療法・音遊び 読書 レクリエーション	制作(ハロウィン)	誕生会 ハロウィンパ ーティー	スキル 当番活動
11	おやつ作り	外出(図書館) 昼食会 グループ遊び 思い出ニュース	音楽療法・音遊び 読書 ストラックアウト	制作(クリスマス)	誕生会 芸術祭見学	スキル 当番活動
12	おやつ作り おやつバイキング	クリーン作戦 思い出ニュース グループ遊び	音楽療法・音遊び レクリエーション 読書・DVD鑑賞	制作(正月飾り)	クリスマス会 クリスマス コンサート 誕生会	スキル 当番活動
1		避難訓練 SST訓練・昼食会 外出(ボウリング) 思い出ニュース	音楽療法・音遊び ゲーム リズム体操 ひだまりレース	制作(バレンタイ ン) 制作(節分) プリント	書初め 誕生会	スキル 当番活動
2	おやつ作り おやつバイキング	外出(図書館) グループ遊び 思い出ニュース 買い物体験	音楽療法・音遊び レクリエーション 読書・運動	制作(雛飾り)	節分 誕生会 お楽しみ会	スキル 当番活動
3	くじ引きおやつ	伝言ゲーム 思い出ニュース SST訓練 クリーン作戦 グループ遊び	DVD鑑賞・読書 ひだまりレース レクリエーション リズム体操		誕生会 卒業・進級を 祝う会	スキル 当番活動

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

今年度の事故報告は2件。利用者の飛び出し(一時、行方不明)と怪我でした。同様の事を繰り返さないよう支援を強化しております。

ひやりはっと

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	2件	0件	0%
5月	0件	0件	0%

6月	0件	0件	0%
7月	1件	0件	0%
8月	0件	0件	0%
9月	0件	1件	0%
10月	1件	0件	0%
11月	0件	0件	0%
12月	2件	1件	50%
1月	1件	0件	0%
2月	1件	0件	0%
3月	4件	0件	0%
計	12件	2件	17%

(2) 要望・苦情等

要望の1件は保護者向けアンケート調査時に記載のあった内容となります。

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	1件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	1件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはつとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、事業所内研修として、年間計画に基づく研修や外部研修の伝達等、日々の支援に活かす取り組みを行いました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し支援方法の確認を行いました。利用児童の障害特性を理解するためのアセスメントや情報収集に努め、適切な支援ができるよう職員間の統一を図りました。その結果、一貫した支援に繋げることができました。

2. 職員研修実施状況

毎年、定期的実施するよう計画してきたAED講習を、今年度は消防署からの提案もあり、その内容を『普通救命講習Ⅰ』としました。これによって在籍職員7人中6人が修了証を保有することとなり、「奥州金ヶ崎救命サポーターステーション」の認定を受けている事業所として万が一に備えた体制を強化することができました。

外部研修については、役職や立場を考慮した研修参加としたため、参加数は少なくなっています。今後も資質向上を目的とし、内部研修の充実、外部研修への積極的参加をしていきます。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	平成31年度事業運営について (基本理念・基本方針・事業計画)	事業計画書読み合わせ (法人諸規程等)
5月	低年齢の児童へのアンガーマネジメント	インストラクターによる勉強会
6月	発達障がいの理解を深める(1)	資料読み合わせ・動画鑑賞
7月	(1)感染症・熱中症の対応 (2)消火訓練	(1)マニュアルの読み合わせ (2)消防署立ち合い避難訓練
8月	KYT訓練	KYT訓練テキスト
9月	虐待防止・身体拘束禁止	マニュアルの読み合わせ
10月	サービス評価表を基にしたサービス改善	サービス評価の集計
11月	事故防止と事故発生時の対応	マニュアルの読み合わせ
12月	発達障がいの理解を深める(2)	資料読み合わせ・動画鑑賞
1月	普通救命講習Ⅰ	消防署へ依頼(江刺地区合同、修了証有)
2月	法令順守とコンプライアンス	規程の読み合わせ(セクシャルハラスメント)
3月		

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
4月	(1) リスクマネジメント研修（基礎編） (2) 発達障がい対応力向上研修	(1)岩手県社会福祉事業団 (2)岩手県医師会
6月	(1)令和元年度虐待防止研修 (2)ファシリテーション研修	(1)岩手県社会福祉事業団 (2)岩手県立大学
8月	(1) ゲーム依存の特徴と支援 (2) 自傷行為の理解と援助に関する研修会 (3) 発達障がい児支援のための研修会	(1) いわてこどもケアセンター (2) 岩手県奥州保健所 (3) 奥州市地域自立支援協議会
10月	令和元年度 OJT 研修～職場で取り組む人材育成～	岩手県社会福祉事業団

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容（児童課・就労課合同）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月27日(月)	・迅速な避難 ・的確な通報	東日本大震災規模 (震度6)	利用児・者 14名 職員 8名
7月26日(金)	夏季における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑に出来るようにする。	消防署立会 火災（1F 昼スペース 近くのコンセントより 出火）	利用児・者 17名 職員 9名
10月17日(木)	・迅速な避難 ・情報収集 ・指定避難場所への避難(江刺総合支所)	大雨による河川の氾濫 ・注意情報発令 ・避難準備・高齢者等避難開始発令	利用児・者 16名 職員 9名
1月8日(木)	冬季における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	1階昼スペース近くの コンセントより出火	利用児・者 16名 職員 10名

令和元年度ひだまり江刺第二桜木事業報告

I. 事業報告

ひだまり江刺第二桜木は平成28年4月に開設され、今年で4年目となりました。放課後等デイサービス利用登録児数（令和2年3月31日現在）は22名となり、前年度に比べると7名増加しております。利用登録児数が増えた事により、前年度の利用者平均が4.5名に対し、令和元年度の利用者平均が4.8名と0.3名増加となりました。また、日中一時支援事業のみの19歳以上の利用登録者数は13名となりました。放課後等デイサービス利用の伸び悩みの原因として前年度挙げられていた、開設当初の「中高生対象」の枠を今年度より外し、他事業所同様の小学生から18歳までを対象として運営してまいりました。

ただし、令和元年度の登録者数は増えたものの支援学校に通う中高生の利用者は寄宿舍利用が多く、ひだまり江刺第二桜木の利用回数が少ない事も課題として挙げられます。

令和元年度は「人との関わり、コミュニケーションスキル、就労に向けた必要な訓練、社会との交流を促進し放課後の居場所を提供すること」を目標に取り組みました。対人関係のスキルに関しては日々の活動や日常の会話などの中から支援し取り組みました。また、社会との交流に関しては、地域の方々に参加していただき、縁日を開催することが出来ました。

令和元年度の保護者向けアンケートでは、放課後等デイ利用の保護者18名（アンケート実施月の利用登録者数）に対し、12名から回答をいただき、回収率は66.6%でした。また、そのうち「事業所の支援の満足度」に関しては12名中12名の保護者から満足度100%の評価をいただきました。しかし、一方で「障がいのない子どもと活動する機会があるか」との内容に関しましては50%の保護者の方が「どちらともいえない」または「いいえ」に回答していました。実際には高校生のボランティアとの交流も設けましたが事業所側の発信不足もありました。

また、令和2年1月に新型コロナウイルスの発生により感染拡大防止のため、利用者へあらゆる安全対策を講じてきました。

今後も、保護者および相談支援事業所や関係機関、また地域と連携をとりながら安定した事業運営に取り組みたいと考えています。

1. 成果の詳細

令和元年度の成果としては、「中高生対象」の枠を外したことで、利用者の受け入れの幅も広がり、利用登録者数の増加が結果となり現れました。また、利用者の年齢層が広がったことから対人関係を学ぶ機会にもなり、利用者のコミュニケーションの幅も広がりました。

2. 課題の詳細と改善目標

令和元年度の課題として、中高生の利用者の寄宿舍利用が多く放課後等デイサービスの重要性を保護者、そして利用者へ発信する力が不十分であると感じました。職員間で支援の質を高める為の研修や学びの場を増やし、保護者や利用者が必要と感じていただける事業所を目指します。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児 ・利用定員 10名 ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者 ・利用定員 なし
- ・活動日 毎日 (但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士		1		1
児童指導員	2	3		3
指導員				
送迎員				
合計	4	6		6

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス

区分	8歳	9歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男	2	1	1	2	3		1	1	1	12
女			1		1	3	2	2	1	10
計	2	1	2	2	4	3	3	3	2	22

(2) 日中一時支援事業

区分	8歳	9歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	20歳	21歳	22歳
男	2	1	1	2	3		1	1	1	4	4	
女			1		1	3	2	2	1	1		1
計	2	1	2	2	4	3	3	3	2	5	4	1

区分	23歳	25歳	30歳	計
男				20
女	1	1	1	15
計	1	1	1	35

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	金ヶ崎	計
男	5	12	2			1	20
女	4	9				2	15
計	9	21	2			3	35

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	7	5					12
女	3	6			1		10
計	10	11			1		22

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。

(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	2	10	12	17%
女	1	9	10	10%
計	3	19	22	14%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	0	0	0
女	1	0	0	1
計	1	0	0	1

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	29	115	3.9	61
5月	29	101	4.0	79
6月	30	136	4.5	107
7月	31	152	4.9	84
8月	27	142	5.2	63
9月	30	125	4.1	96
10月	30	159	5.3	122
11月	30	165	5.5	128
12月	29	164	5.6	116
1月	28	139	4.9	87
2月	29	139	4.7	120
3月	22	153	4.9	83
合計	345	1,690	4.8	1,145

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	29	149	5.1	132
5月	29	140	5.6	120
6月	30	162	5.4	167
7月	31	162	5.2	185
8月	27	146	5.4	185
9月	30	158	5.2	162
10月	30	157	5.2	133
11月	30	150	5.0	124
12月	29	158	5.4	125
1月	28	145	5.1	127
2月	29	140	4.8	121
3月	22	156	5.0	140
合計	345	1,823	5.2	1,721

(3) 通学支援事業(朝送迎)

月	提供日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	13	37	2.8	13
5月	8	23	2.9	8
6月	18	39	2.1	18
7月	15	43	2.9	15
8月	13	28	2.1	13
9月	18	46	2.5	18
10月	16	42	2.6	16
11月	20	49	2.4	20
12月	14	38	2.7	14
1月	17	37	2.1	17
2月	15	40	2.6	15
3月	12	31	2.5	12
合計	179	453	2.5	179

7.サービス提供内容み

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事・その他	個別活動
4	衣服たたみ 昼食作り おやつ作り	自己紹介 就労体験 クリーン作戦	ダンス 音楽療法 卓球大会	ぬりえ 貼り絵制作 装飾品づくり	歓迎会・誕生会 お花見 ドライブ	選択活動
5	昼食作り おやつ作り スキル	就労体験 パソコン 避難訓練	おやつゲーム 縄跳び・散歩 ストレッチ	折り紙 ぬり絵 カレンダー制作	ドライブ 音楽療法	選択活動 読書
6	手指運動 昼食作り ミーティング	誕生会・クリーン体験 就労体験	おやつバイキング DVD鑑賞	ぬりえ 七夕飾り作る 折り紙づくり	ドライブ	選択活動
7	手洗いをしよう スキル 買い物へ行こう	就労体験 夏祭り招待状作成 流しそうめん準備	宝探し 音楽療法 縄跳び・散歩	塗り絵 模写 カレンダー制作	七夕 避難訓練	選択活動
8	スキル おやつ作り 身だしなみチェック	地域交流流会 就労体験 外出・外食体験	音楽療法 ダンス 体力作り	手のひらアート 折り紙 作品作り	招待状作り 地域交流会	読書

9	衣類たたみ 手指運動 視覚ゲーム	就労体験 お買物ゲーム お弁当買って食べよう	音楽療法 体力作り DVD鑑賞	敬老の日の制作 カレンダー制作 芸術祭参加作品	ドライブ 避難訓練	読書
10	スキル(パソコン) 昼食作り 紐結びをしよう	就労体験 クリーン作戦	体カづくり 音楽療法 体操	クリスマス会作品 塗り絵 アルバム制作	ハロウィン ドライブ	読書
11	手洗いをしよう おやつ作り	グループ活動 グループミーティング SST	腹筋、背筋運動 カラオケ リズム体操	塗り絵 カレンダー制作 クリスマス会作品	ドライブ(紅葉)	
12	外食体験 昼食作り おやつ作り	スキル(就労体験) SST クリーン作戦	運動(筋トレ) リズム体操 忘年会	クリスマス作品作り 年賀状作成	クリスマス会 ドライブ 大掃除	読書 ぬりえ
1	おやつ作り 視覚ゲーム	SST クリーン作戦 避難訓練	お正月遊び 音楽療法 体育館へ行こう	書初め カレンダー制作 間違い探し	初詣 みずき飾り作り	当番活動
2	スキル おやつ作り 昼食作り	SST クリーン作戦 スキル(就労体験)	ラジオ体操 DVD鑑賞 リズム体操	カレンダー制作 折り紙・ひな祭り作 品制作・模写	ひな祭り準備	選択活動
3	おやつ作り 挨拶をしよう 自己紹介をしよう	スキル(就労体験) SST 手指運動	音楽療法 ゲーム カラオケ	ぬり絵 色紙作り カレンダー制作	卒業お祝い会 お弁当を食べよう	

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと× 100)
4月	0件	0件	0%
5月	0件	0件	0%
6月	1件	0件	0%
7月	1件	0件	0%
8月	0件	0件	0%
9月	0件	0件	0%
10月	4件	0件	0%
11月	2件	0件	0%

12月	1件	0件	0%
1月	0件	0件	0%
2月	0件	0件	0%
3月	1件	0件	0%
計	10件	0件	0%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、所長の方針、各会議の報告、利用者の状況など再認識し、情報の共有、活動の反省、次月の業務の確認・ヒヤリはっとの原因解明、研修の伝達報告を行いました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し、統一した支援方法の確認を行いました。

特に、コミュニケーションスキルに力を入れながら、職員間で情報を共有し支援に努めました。

2. 職員研修実施状況

令和元年度においては、多種多様な内容の外部研修に参加できました。また、内部研修も3月以外、定期的に関開し振り返りや学びの貴重な機会となりました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	事業所運営について	事業計画の確認
5月	事業所運営について	内部監査、書類整備について
6月	食中薬について	消毒、対応の確認
7月	個別支援計画について	個別支援の取り組み、記録について
8月	支援の振り返り	利用者の情報共有、支援の状況と課題
9月	防災訓練について	水害時の対応について
10月	虐待防止について	DVDを見て学ぶ
11月	アレルギーについて	アレルギーの知識、利用者の対応
12月	感染症について	感染症対策、対応の確認
1月	新連絡帳について	新連絡帳の使い方
2月	支援の振り返り	利用者の状況確認、支援の状況と課題、今年度の支援の成果
3月	新型コロナウイルスの影響による利用者受け入りの為、実施できませんでした。	

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
5月	・リスクマネジメント研修【基礎編】	岩手県社会福祉事業団
6月	・第18回自閉症初級セミナー	岩手自閉症センター
7月	・第2回自閉症学習会 ・岩手県知的障害者福祉協会 令和元年度新任職員研修会	・岩手自閉症センター ・岩手県知的障害者福祉協会
8月	・ゲーム依存の特徴と支援 特別講習会 ・令和元年度 発達支援研修会 ・第3回自閉症学習会 ・就労支援特化したSST研修会	・いわてこどもケアセンター ・岩手県立療育センター ・岩手自閉症センター ・奥州市地域自立支援協議会就労部会
9月	・笹一誠氏による講演会「子育ての基本を見直そう・家庭での取り組みについて」 ・支援力を高めるコミュニケーションスキル研修 ・奥州地域福祉サービス苦情解決情報交換会 ・第2回自閉症学習会	・一般社団法人takamura協会 ・社会福祉法人岩手県社会福祉事業団 ・岩手県福祉サービス運営適正化委員会 ・岩手自閉症センター

10月	・OJT研修 ・自閉症スペクトラム学会 東北支部認定講座	・岩手県社会福祉事業団 ・日本自閉症スペクトラム学会
11月	・2019年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修	・社会福祉法人岩手県社会福祉事業団
12月	・令和元年度障害者虐待防止研修	・一般社団法人岩手県社会福祉士会

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
令和元年5月20日(月)	日中時の地震発生時における職員基本対応	東日本大地震 震度7	利用児・者 14名 職員 5名
令和元年7月29日(月)	迅速な避難、通報、消火訓練	ガスコンロより出火	利用児・者 9名 職員 6名
令和元年9月18日(月)	敏速な避難	北上川氾濫を想定される避難	利用児・者 11名 職員 5名
令和2年年1月7日(火)	日中時の地震発生時における職員基本対応	東日本大地震 震度7	利用児・者 2名 職員 3名

令和元年度ひだまり水沢森下児童課事業報告

I. 事業報告

ひだまり水沢森下は平成20年に開設し今年で12年経過しました。放課後等デイサービスの登録児数は22名、一日平均9.4名の利用状況で定員超過日は年間5日間でした。前年度利用対比は3.5ポイントの増加で、一昨年度末に迎い入れた小学1・2年生3名の方々の常用によるものと考えます。

令和元年度は、重点目標に「安全、安心、信頼」の構築に向けて努力する」と掲げ、利用児にとって安心して、楽しく過ごす事ができる環境づくりと保護者から信頼される事業所づくりを目指して取り組みました。

その結果、成果として保護者アンケートの「職員の専門性」「面談や育児に関する助言等の支援」「子どもの状況等の職員との共通理解」「緊急時対応マニュアル等の周知・説明」の項目で、前年度比20%超のご理解をいただきました。利用時の様子をできる限り詳細にお伝えする、保護者に支援の様子を実際に見学していただく、行事や懇談会の企画で親睦を図る、近隣老人施設への交流訪問等、昨年の課題を克服する工夫の積み重ねが、一步の前進に繋がったと感じています。継続して実践し利用者さんや保護者の皆さんとの信頼の絆をより一層深め、事業所へのさらなるご理解とご協力を得ていきます。

事故は1件、外出先の駐車場で他者車両の当て逃げに遭遇しましたが、利用児はじめ人的被害や大きな物損被害には至りませんでした。外出計画等入念な事前準備と現場対応や連携等が今後もさらに必要であることを実感します。ひやりはっと件数は16件(前年度12件)、配慮不足と見守り介助不足、職員のうっかりミスと確認不足によるものでした。

課題は、低学年の利用者が増加したことに伴う支援の在り方の見直しです。施設構造上のハード面をカバーするため、支援等のソフト面の吟味を全職員で共通認識し、危険回避に繋がる情報共有を行っていきます。

令和元年度アンケートのサービス提供に関わる満足度は81%であり、前年度より10ポイント向上しました。これは上記成果と連動していると思われまます。利用児や保護者のご意見に傾聴し、信頼の構築をより強固なものにしていきたいと思ひます。

職員の自己評価アンケートの集約からは、バリアフリー化への配慮、児童クラブ等との交流や地域に開かれた事業所運営、ペアレントトレーニング等の支援、アセスメントツールの使用、就学以前以後の関係機関との連携の在り方に関する内容が問題点として上がりました。改善策としての新たな取り組みの検討を行い、関係機関との具体的な連携と情報収集を開始しています。また、内部・外部研修でさらに専門性を高め、職員間での情報共有と連携を密に行いながら、改善に努めていきたいと考えています。

1. 成果の詳細

- ・利用時の様子を保護者にできる限り詳細にお伝えすることを心掛け、共通理解を図ることができました。
- ・保護者に支援の様子を実際に見学していただく機会を持ったことが、育児等に関する支援や助言のきっかけになりました。
- ・夏祭りや保護者懇談会等の行事で、親子での調理活動や食事会を企画し、例年以上の参集をいただき、和やかに交流を図ることができました。
- ・近隣の老人施設に訪問し、交流を図ることができました。
- ・新規利用者の保育園見学と情報交換を行うことができました。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・老人施設等との交流を継続するとともに、保育園や放課後児童クラブ等との情報交換の機会を増やし、地域交流を積極的な視点で検討します。
- ・バリアフリー化への配慮は、施設構造上ハード面では困難さがありますが、配慮と支援等のソフト面の具体的な対応を、全職員で共通認識し情報共有しながら見直します。
- ・面談や助言は、研修会等で専門知識を高めるとともに、サービス内容の情報収集に努めて、保護者の心情に寄り添って行えるように努めます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日とする。
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者
- ・利用定員 なし
- ・活動日 毎日(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1 (生活課兼務)	1
児童課長		1		1
児童発達支援 管理責任者	1	1		1

指導員	2	4		4
保育士		2		2
合計	4	8	1 (生活課兼務)	9

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス (R2. 3. 31 時点)

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	計
男子	1	2	4	1	2		3	2		2		1		18
女子		1						1		1	1			4
計	1	3	4	1	2		3	3		3	1	1		22

(2) 日中一時支援 (R2. 3. 31 時点) ※放デイとの重複あり

区分	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	計
男子	1		1	2	4	1	2		2	2		2		1			1	19
女子				1						1	1	1						4
計	1		1	3	4	1	2		2	3	1	3		1			1	23

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	9		7	4				
女	3			1				1
計	12		7	5				1

(4) 障害種別 (重複あり)

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	14	7	1		4	5	31
女	4		1	1		3	9
計	18	7	2	1	4	8	40

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。
(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	6	12	18	33 %
女	2	2	4	50 %
計	8	14	22	36 %

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	3			3
女				
計	3			3

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	29	274	9.4	220
5月	29	260	9.0	257
6月	30	273	9.1	275
7月	31	297	9.6	246
8月	27	250	9.3	164
9月	30	260	8.7	261
10月	30	275	9.2	282
11月	30	287	9.6	280
12月	29	267	9.2	248
1月	28	263	9.4	196
2月	29	273	9.4	268
3月	21	230	11.0	21
合計	343	3209	9.4	2718

(2) 日中一時支援事業

月	開所日(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	29	34	1.2	6
5月	29	31	1.1	0
6月	30	33	1.1	8
7月	31	30	1.0	1
8月	27	44	1.6	4
9月	30	32	1.1	2
10月	30	24	0.8	2
11月	30	31	1.0	1
12月	29	36	1.2	1
1月	28	26	0.9	3
2月	29	33	1.1	4
3月	21	6	0.3	0
合計	343	360	1.0	32

(3) 通学支援事業(朝送迎)

月	提供日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	14	36	2.6	14
5月	18	46	2.6	18
6月	20	54	2.7	20
7月	15	38	2.5	15
8月	10	27	2.7	10
9月	18	45	2.5	18
10月	21	56	2.7	21
11月	20	52	2.6	20
12月	17	43	2.5	17
1月	12	36	3.0	12
2月	18	51	2.8	18
3月	0	0	0	0
合計	183	484	2.6	183

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク活動	創作活動	季節行事・その他	個別活動
4	当番活動 手指運動 おやつバイキング	昼食を食べに行こう 名前を覚えよう 思い出発表会 挨拶運動 誕生会 選択活動	音楽療法 室内運動 ラジオ体操 DVD鑑賞 しゃぼん玉遊び おやつビンゴ パズル	塗り絵 カレンダー作り クリエイティブデイ	春休みの思い出を書く ドライブ 自由活動	個別支援
5	当番活動(食器洗) 手指運動(はさみの 使い方) おやつバイキング おにぎりを作ろう	避難訓練 アイスを食べに行こう 視覚ゲーム 誕生会 選択活動	音楽療法 室内運動 風船バレー テーブルゲーム くじ引きおやつ	塗り絵 母の日カード クリエイティブデイ	散歩 自由活動	個別支援
6	手指運動(はさみの 使い方) 昼食作り クリーン作戦	真似っこゲーム 読み聞かせ お楽しみパーティ ー 選択活動	音楽療法 ストレッチ 線の上鬼ごっこ 座布団取りゲーム じゃんけん列車 しゃぼん玉遊び 駄菓子屋風くじおやつ	折り紙 うちわ作り ラッピング 壁面制作	散歩 短冊を書こう 自由活動	個別支援
7	当番活動(食器洗) おやつバイキング おやつ作り	避難訓練 読み聞かせ 選択活動	音楽療法 室内運動 リズム体操 風船バレー 座布団取りゲーム DVD鑑賞 シャボン玉遊び あみだくじおやつ パズル	塗り絵 切り絵 壁面制作 クリエイティブデイ	七夕を飾ろう 散歩 夏休みの目標を決める 親子夏祭り 水遊び 自由活動	個別支援
8	手指運動 おやつバイキング おやつ作り 大掃除	アイスを買に行こう 昼食を食べに行こう 誕生会 選択活動	音楽療法 ストレッチ リズム体操 線の上鬼ごっこ おやつあみだくじ スクラッチカード	風鈴作り クリエイティブデイ	田んぼアート見学 水遊び 夏休みの振り返り 自由活動	個別支援
9	当番活動(食器洗) 手指運動(箸移し、 アイロンビーズ、 紐通し) おやつ作り	避難訓練 SST 選択活動	音楽療法 リズム体操 仲間探し	壁面制作	自由活動	個別支援
10	手指運動(キャップ 積み) おやつバイキング クリーン作戦	おやつを買に行こう 体育館で遊ぼう 誕生会	音楽療法 リズム体操 線の上鬼ごっこ 魚風船バレー 釣りゲーム おやつあみだくじ くじおやつ	塗り絵 ハロウィンバック	ハロウィンパーティー 自由活動	個別支援
11	おやつバイキング ケーキ作り カルピスを作ろう	SST 絵本の森に行こう 読み聞かせ 誕生会 選択活動	音楽療法 リズム体操 大型オセロ 座布団取りゲーム じゃんけんおやつ	折り紙 壁面制作 クリエイティブデイ	保護者懇談会 散歩 ドライブ 自由活動	個別支援

12	片付けゲーム ココアを作ろう 昼食づくり 年末大清掃	SST おもちゃ図書館に行こう 誕生会	音楽療法 リズム体操 筋トレ だるまさんが転んだ	クリスマスカード 制作 廃材で遊ぼう クリエイティブデイ	クリスマス会 クリスマスパーティー 身体測定 自由活動	個別支援
1	手指運動 おやつバイキング おやつ作り クリーン作戦	避難訓練 初詣 読み聞かせ 伝言ゲーム お弁当を買いに行こう 誕生会 選択活動	音楽療法 室内運動 大型オセロ 風船バレー 割れないしゃぼん玉 おやつあみだくじ	塗り絵 鬼のバック作り 壁面制作 クリエイティブデイ	自由活動	個別支援
2	当番活動 手指運動(はさみ) 昼食作り	SST 回進堂について学ぶ 読み聞かせ 新聞じゃんけん 視覚ゲーム 選択活動	音楽療法 室内運動 新聞じゃんけん 選択ゲーム遊び おやつくじ	塗り絵 ストリングボール作り 壁面制作 クリエイティブデイ	節分 工場見学(回進堂) バレンタインラッピング 自由活動	個別支援
3	当番活動 手指運動(ビーズ通し) おやつバイキング おやつ作り	誕生会 選択活動	室内運動 しっぽ取り テーブルゲーム じゃんけんスタンプラリー おやつあみだくじ	切り絵 壁面制作 紙飛行機を折ろう 寄せ書き	ひな祭りパーティー 春休みの目標 卒業と進級を祝う会 自由活動	個別支援

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやりはっと		事 故		事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)	
4月	2	件	0	件	0	%
5月	3	件	0	件	0	%
6月	4	件	0	件	0	%
7月	0	件	0	件	0	%
8月	1	件	1	件	100	%
9月	0	件	0	件	0	%
10月	1	件	0	件	0	%
11月	0	件	0	件	0	%
12月	1	件	0	件	0	%
1月	2	件	0	件	0	%
2月	2	件	0	件	0	%
3月	0	件	0	件	0	%
計	16	件	1	件	6.25	%

(2) 要望・苦情等

月	要 望	苦 情	不適切と疑われた支援
4月	0 件	0 件	0 件
5月	0 件	0 件	0 件
6月	0 件	0 件	0 件
7月	0 件	0 件	0 件
8月	0 件	0 件	0 件
9月	0 件	0 件	0 件
10月	0 件	0 件	0 件
11月	0 件	0 件	0 件
12月	0 件	0 件	0 件
1月	0 件	0 件	0 件
2月	0 件	0 件	0 件
3月	0 件	0 件	0 件
計	0 件	0 件	0 件

Ⅱ. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

「安全、安心、信頼」の構築に向けて努力する」を重点目標に掲げ、送迎中の事故やひやりはっとの予防策と検証を職員間で周知徹底し、利用者の皆さんにとって安心して、楽しく過ごす事ができる環境づくりと保護者の皆さんから信頼される事業所づくりを目指しました。

課題としては、施設の構造上、階段や段差への対策は、利用児行動の見守りと安全への声掛け支援が欠かせない為、事例を基に危険予測を前提にした支援の継続が必要です。また、定期的を送迎経路や出発時刻、チャイルドロック等の確認を行うとともに、職員間での情報共有と連携を密に図りながら事故防止に努めることの確認も継続して行います。

保護者の皆さんとの親睦と交流行事の企画、地域連携のあり方を具現化していくアイデアと工夫の検討を継続して行っていくことを確認しています。

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、各月のテーマに沿った事業所内研修に取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、モニタリング、ケース検討会を随時開催し支援方法の確認を行いました。6割弱を占める高学年以上の利用者に対しては、社会適応能力訓練に繋がる支援ツールの活用や行動移行、声かけのタイミングや言葉遣い等を中心に、また、低学年の利用児に関しては個々の特性に配慮し、仲良く安全に過ごすことを第一に、職員間で情報を共有し、円滑な支援に努めました。

2. 職員研修実施状況

令和元年度においては、交通事故防止の再確認、事業所内外の環境整備を継続して実施するとともに、放課後等デイサービスの加算に関する内容や接遇を取り上げてサービスの質の向上を目指してきました。また、職員の育成・資質向上を目指して、放課後等デイサービス卒業後の進路に関連する他の福祉施設の見学研修を行い、将来の自立を目指す支援の在り方についても考察しました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	・平成31年度法人及び事業所計画について	・事業計画書の読み合わせ
5月	・個人情報 の適正取扱いについて ・重要事項説明書の確認	・個人情報取り扱いマニュアル、事業所の重要事項説明書の読み合わせ
6月	・事業所の課題、改善目標の確認 ・リスクマネジメントについて ・学校へ行こう週間見学について	・事業報告書、サービス評価表集計データ、法人マニュアルの読み合わせ ・リスクマネジメント伝達研修
7月	・施設の安全管理、環境整備について	・施設内点検 ・施設内環境の見直し、改善の提案 ・防災対応マニュアルの読み合わせ
8月	・感染症・食中毒とその対応等について	・衛生管理、感染予防、緊急時対応マニュアルの読み合わせ ・熱中症への対策・対応について資料読み合わせ ・日常点検チェック表の確認
9月	事故防止と事故発生時の対応 (リスクマネジメント) ・他福祉施設見学(胆沢コスモス会、ひまわり園、はっぴいウイング)	・運転者服務規定、交通事故対応マニュアル、事故予防策の資料の読み合わせ
10月	・事故、ひやりはっとの振り返りと検証	・事故、ひやりはっと集計結果をもとに意見交換

11月	・放デイサービス評価表について ・施設見学の振り返り	・ガイドラインの読み合わせ
12月	・放デイサービス評価集計結果について	・保護者からの意見要望への回答 ・自己評価結果について検証、改善策について
1月	・接遇	・事例からの検証
2月	・一人一研究事業所内リハーサル	・代表者の発表、改善点等の検討

(2) 職場外（派遣）研修

開催月	研修名	主催
4月	世界自閉症啓発デー記念公開講座	岩手ひだまり会
5月	第1回ポーターゲージ相談のための基礎講座 2019 行動障害児・者とその家族へのPBS支援～基礎編～	日本ポーターゲージ協会
	リスクマネジメント研修【基礎編】	岩手県社会福祉事業団
6月	第1回 自閉症学習会	いわて自閉症センター
7月	第2回 自閉症学習会	いわて自閉症センター
8月	第3回 自閉症学習会	いわて自閉症センター
9月	第20回 自閉症療育セミナー	いわて自閉症センター
	第2回ポーターゲージ相談のための基礎講座 2019 「保護者面談」におけるカウンセリングの基礎と応用	日本ポーターゲージ協会
	第4回 自閉症学習会	いわて自閉症センター
10月	日本自閉症スペクトラム学会 東北支部第7回資格認定講座	日本自閉症スペクトラム学会
1月	第5回 自閉症学習会	いわて自閉症センター

III. 防災関係

防災避難訓練実施内容（生活介護課と合同での実施。参加者数は児童課限定人数）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月23日(木)	迅速な避難 的確な通報	<地震> 東日本大震災 震度7 発生時刻 15:20	利用児・者 3名 職員 4名
7月 5日(金)	迅速な避難 的確な通報 消火訓練 消火器設置場所確認	<火災> 一階多目的室付近 より出火 出荷時刻 15:30	利用児・者 10名 職員 6名
9月28日(土)	迅速な避難 的確な通報	<水害・土砂災害> 大雨による 水害土砂災害 実施時刻 11:30	利用児・者 6名 職員 6名
1月25日(土)	迅速な避難 的確な通報 消火訓練 消火器設置場所確認	<火災> 二階食堂カセット コンロより出火 出火時刻 11:45	利用児・者 7名 職員 5名

令和元年度ひだまり水沢駅東事業報告

I. 事業報告

ひだまり水沢駅東は令和2年3月末時点での登録者数は、19名（放デイ18名、日中一時1名）。放デイのみでは、一日平均9.4名（利用率94%）。前年度の登録者数20名、一日平均9.2名（利用率93%）より、平均はわずかに増えました。登録者数は減少しましたが、一人あたりの利用回数が増加していると捉え、支援の充実に繋がりたいと考えます。

令和元年度は、将来を見据え、利用児の立場に立ったサービスを提供する為に、利用児をよく観察し、洞察する力を身に付け、必要な支援を提供することを目標に重点的に取り組みました。その結果、成果としては、職員それぞれが支援に対して共通認識を持ち、積極的に考える姿勢が見られました。

一方課題もあり、今年度は事故が4件発生しました。職員の不注意による車両の接触事故2件、支援中における職員の怪我1件、利用児の飛び出しによる車両接触事故1件でした。特に飛び出しによる事故は、利用児の怪我に繋がる重大な案件であり、決して同じことを繰り返さない為に原因について考え、課題の抽出と改善について細かく検討しました。

毎年実施しているアンケート調査については、保護者向けアンケートの回収率は94%、前年度より24%上がり、保護者の関心が高くなったことが伺えます。保護者同士の交流の場を求めている方が多く、年度末に懇談会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、やむを得ず中止する事となりました。次年度はご要望に応えられるよう検討していきます。その他サービス提供にかかる満足度は、「通所を楽しみにしている」と「支援への満足度」はどちらも100%という評価を頂きました。日々の意識的な行動に力を注いだ結果と受け止めておりますが、維持・向上することが大切であると捉え、更なる向上に努めて参ります。

また、職員によるアンケートを集約すると、保護者との連携について不十分であること、児童クラブ等の子どもとの交流の機会がないことは継続課題としてあがりました。地域の方との交流については、ボランティアの方や高齢者施設の訪問等を通して関わる機会はありませんでしたが、地域の子供達との交流については現在も検討中です。今後も職員のスキル向上と、交流や活動の場の設け方について検討し、改善に繋がっていきたいと考えます。

これらをまとめ、次年度も利用者の将来を見据え、必要な支援について検討し、安心した気持ちで過ごせるよう支援の充実に努めます。また、職員の資質向上と、保護者との信頼関係の構築に重点を置き取り組んでいきます。

1. 成果の詳細

- ・職場内研修にて、学校や他事業所の見学を通し、支援方法について学ぶ機会を設けることで、支援の振り返りをすることが出来ました。
- ・利用児の将来を見据えた必要な支援内容について各々考え、支援グッズの作成や、利用者目線で考える環境の整備に努めました。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・運転業務については、運転時の注意点（危険個所や危険場面等）を具体的に上げ、改善事項について共有しました。細心の注意を払い運転業務にあたるよう再確認し、意識強化に努めます。
- ・利用児の心や体の発達状況の理解や、危険認知について再確認し、支援方法の見直しをして、怪我等の事故の再発防止に努めます。
- ・家族や関係機関と連携を強化し、共通理解のもと、統一した支援に繋がるよう努めます。
- ・地域との関わり方について検討し、交流する機会が増えるよう取り組みます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成 (R2.3.31 現在)

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1		1	
保育士		2		2
児童指導員	2	4		4
指導員				
送迎員				
合計	4	7	(1)	7 (1)

5. 利用者の状況 (R2.3.31 現在)

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男	1			2	2		1	2	3		1	1	13
女					1		1		1			2	5
計	1			2	3		2	2	4		1	3	18

(2) 日中一時支援事業

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	17歳	18歳	21歳	計
男	1			2	1		1	2	2	1	1	1	12
女					1		1		1		1		4
計	1			2	2		2	2	3	1	2	1	16

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	11		1				2	14
女	5							5
計	16	0	1	0	0	0	2	19

(4) 障害種別 (重複あり)

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	9	4			1		14
女	2	1			2		5
計	11	5			3		19

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率 (該当/登録児童)
男	10	3	13	76.9%
女	4	1	5	80%
計	14	4	18	77.7%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男				0
女				0
計	0	0	0	0

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	29	294	10.1	267
5月	29	251	8.7	286
6月	30	265	8.8	286
7月	31	309	10.0	292
8月	27	264	9.8	200
9月	30	242	8.1	245
10月	30	284	9.5	309
11月	30	267	8.9	289
12月	29	273	9.4	278
1月	28	270	9.6	223
2月	29	264	9.1	260
3月	22	234	10.6	100
合計	344	3217	9.4	3035

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数 (日)	延人数 (人)	平均利用者数 (人)	送迎回数 (回)
4月	29	45	1.6	5
5月	29	34	1.2	4
6月	30	45	1.5	6
7月	31	46	1.5	5
8月	27	52	1.9	6
9月	30	36	1.2	7
10月	31	36	1.2	10
11月	30	39	1.3	6
12月	29	41	1.4	6
1月	28	45	1.6	5
2月	29	58	2.0	5

3月	22	2	0.09	0
合計	344	479	1.4	65

(3) 通学支援事業 (朝送迎)

月	提供日数 (日)	延人数 (人)	平均利用者数 (人)	送迎回数 (回)
4月	14	30	2.1	14
5月	18	41	2.2	18
6月	20	46	2.3	20
7月	16	38	2.4	16
8月	10	20	2.0	10
9月	18	20	1.1	18
10月	20	47	2.4	20
11月	19	41	2.2	19
12月	17	33	1.9	17
1月	12	23	1.9	12
2月	17	32	1.9	17
3月	0	0	0	0
合計	181	436	1.9	181

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活 訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別 活動
4	洗濯物干し 昼食作り ビーズ通し	誕生会 クリーン作戦 進級・進学を祝う 会、買い物 (菓子)	音楽療法、リズム体操 輪投げ おやつバイキング くじ引きおやつ	こいのぼり制 作 塗り絵	お花見 公園散策	個別支援 パズル プリント
5	おやつ作り 食器洗い 燗の使い方 ビーズ通し	誕生会、避難訓練 消防署見学	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 おやつバイキング 風船バレー、シャボン玉	塗り絵 プレゼント作 り	花植え	個別支援
6	おやつ作り	誕生会 見分森散策	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 クロスホッピング、ゲーム遊び ケンパー遊び、ボール入れ おやつバイキング	七夕飾り 塗り絵 写真立て 制作 (粘)	衣替え 花の手入れ	個別支援 当番活動 プリント
7	昼食作り おやつ作り 食器洗い	誕生会、避難訓練 クリーン作戦 買い物 (アイス)	音楽療法、旗揚げゲーム しゃぼん玉、風船バレー、輪投げ、 運動 (地区センター)、出前講座	うちわ、塗り絵	七夕祭り 花の手入れ	個別支援 パズル 当番活動

			(ストーンペインティング)			
8	おやつ作り 洗濯物干し 箸の使い方	誕生会 クリーン作戦 買い物(お弁当)胆 沢ダム散策 事業 所交流	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 新聞じゃんけん 風船バレー、クロスホッピング おやつバイキング、	制作(ぶどう) 塗り絵	スイカ割り	個別支援 プリント
9	ひも通し	誕生会、避難訓練 クリーン作戦 外食	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 しゃぼん玉、もぐらたたき クロスホッピング、新聞ゲーム おやつバイキング	塗り絵 制作(トンボ)		個別支援 プリント 当番活動 パズル
10	昼食作り	誕生会 胆沢ダム散策 福祉施設(遊戯)	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 クロスホッピング、ボールプール 椅子取りゲーム、運動、音遊び シャボン玉、くじ引きおやつ	制作(ハロウィン、コスモス) 粘土、塗り絵 制作(しおり)	秋の散策 ハロウィンパ ーティー、 音楽隊のコン サート	個別支援
11	昼食作り ビーズ通し	誕生会、 クリーン作戦 買い物(アイス) 里まつり見学 種山高原散策	音楽療法、リズム体操 クロスホッピング、シャボン玉 バランス運動、魚釣りゲーム	塗り絵 クリスマス制 作	制作(魚)	個別支援
12	昼食作り おやつ作り	誕生会	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 クロスホッピング、風船バレー カードゲーム、	クリスマス制 作 お正月飾 り制作 塗り絵	ツリーの装飾 クリスマスパ ーティー、大掃除	個別支援 当番活動
1	おやつ作り 洗濯物干し	誕生会、避難訓練 クリーン作戦 買い物(お弁当)	音楽療法、リズム体操、DVD鑑賞 千支ゲーム、風船バレー おやつバイキング	カレンダー作 り 塗り絵	初詣 お正月遊び 野鳥見学	個別支援 プリント 当番活動
2	昼食作り 手洗いチャ レンジ	誕生会 買い物(菓子) 花卉センター見学	音楽療法、リズム体操 黒ひげ大作戦、おやつバイキング	雛人形作り	豆まき	個別支援 プリント 当番活動
3		お誕生会 クリーン作戦	リズム体操、クロスホッピング、 バトミントン、もぐらたたき 運動(地区センター) 連想ゲーム	制作(カラーセ ロファン) カレンダー作 り	ひな祭り 読み聞かせ 折り紙	個別支援 プリント

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

ひやりはっとは、利用者による他害行為や、突発的な行動からの飛び出しの件数が多くありました。職員関係では、思い込みや勘違い等の確認不足によるものでした。利用者の特性を踏まえた上で、行動を予測し配慮することや、必要事項をメモに残す等、都度確認をするよう努めております。

事故報告は、4件。職員の不注意による車両接触と、利用者対応時に起きた職員の怪我利用者の飛び出しによる車両接触でした。再発防止向け意識強化をしております。

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	1件	0件	0%
5月	5件	0件	0%
6月	2件	0件	0%
7月	3件	0件	0%
8月	1件	0件	0%
9月	1件	1件	0%
10月	4件	1件	25%
11月	5件	0件	0%
12月	1件	1件	0%
1月	1件	0件	0%
2月	2件	1件	50%
3月	0件	0件	0%
計	25件	4件	16%

(2) 要望・苦情等

苦情の1件は、保護者の緊急連先の確認不足による内容でした。改善に努めております。

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件

9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	1件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	0件	1件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、利用者の個別特記・個別支援についての確認、各会議の報告、ひやりはっとの報告と対応策についての検討をし、振り返りをしています。また人権擁護チェック表の結果から具体例を挙げ課題についての協議や、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、事業所内研修として、年間計画に基づいての実施や外部研修受講職員からの伝達等を通して、日々の支援に繋げるよう取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し、支援内容や方法について確認を行いました。個々の発達段階に合った支援が提供出来るよう、職員間で情報を共有し、統一した支援を目標に努めました。

2. 職員研修実施状況

令和元年度においては、事故防止について意識強化に向け再確認をしました。外部研修の参加数は例年より少ないですが、内部研修の充実を図り、他事業所での支援内容や方法を参考にして、現状の振り返りや、支援の見直しを行いました。また、消防署に講師を依頼し、AED及び心肺蘇生法等の訓練を行い、万が一に備え、対処法について学びました。

次年度においても、職員の資質向上に繋がるよう、積極的に参加していきます。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画について ・個別支援計画について 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画書に基づいて説明 ・個別支援計画書に基づいて確認

5月	・伝達研修	・研修参加職員による伝達 (行動障害児・者とその家族へのPBS支援)
6月	・学校見学	・見学後、支援内容や方法等について報告 と検討
7月	・感染症、食中毒と予防 ・緊急時対応(熱中症)	・マニュアルを基に嘔吐処理の実践 ・資料読み合わせ
8月	・事業所見学	・見学後、支援内容や方法等について報告、 検討
9月	・支援ツール、グッズ等作成	・各自作成した内容について発表
10月	・AED講習、心肺蘇生法 ・放課後等デイガイドライン ・虐待防止、身体拘束の禁止	・消防署員による講習会 ・ガイドラインの読み合わせ ・研修用DVDの視聴
11月	・虐待防止にむけて	・虐待防止について視聴したDVDの内容を 基に事例検討
12月	・サービス提供の在り方につ いて	・サービス評価の集計を基に協議、検討
1月	・支援の在り方	・ひやりはっと、事故の再発防止に向け 事例検討
2月	・事故防止の対応	・再発防止に向け事例検討と改善策の協議
3月		

(2) 職場外(派遣)研修

月	研修名	主催
5月	・リスクマネジメント研修(基礎編)	・岩手県社会福祉事業団
6月	・苦情を考えるセミナー ・令和元年度虐待防止研修(応用編) ・障がい者相談支援従事者現任者研修(1日目)	・岩手県社会福祉協議会 ・岩手県社会福祉事業団 ・岩手県社会福祉士会
8月	・発達支援研修会 ・自傷行為の理解と援助に関する研修会 ・障がい者相談支援従事者現任者研修(2・3日目)	・岩手県立療育センター ・岩手県奥州保健所 ・岩手県社会福祉士会
10月	・ペアレントトレーニング実践研修	・岩手県
11月	・令和元年度岩手県サービス管理責任者等更新研修	・岩手県社会福祉協議会
12月	・児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修	・岩手県社会福祉協議会

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な避難 ・情報収集 	地震（震度7） 発生 15：30	利用児 12名 職員 7名
7月25日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季における火災発生時の避難誘導 ・初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。 	1階湯沸室付近より出火 14：30	利用児 14名 職員 7名
9月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・水害発生時における迅速な避難・情報収集・現状報告訓練 ・避難場所への避難 ①垂直避難②指定緊急避難場所：常盤地区センター) 	大雨による水害・土砂災害 15：00	利用児 10名 職員 5名
1月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季における火災発生時の避難誘導 ・消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。 	1階湯沸室より出火 11：00	利用児 11名 職員 6名

令和元年度ひだまり水沢横町事業報告

I. 事業報告

令和2年3月末時点での登録児数は昨年度同様24名です。一日平均8.7名の利用で前年度利用対比10%の減少となりました。減少の原因としては、①新規利用契約が11月までなかったこと、②小・中学校ともに最終学年の利用者が多く、部活動のためのキャンセルや毎日の利用から週2～3回の利用となったこと等があげられます。

令和元年度は事業者スローガンとして「信頼・笑顔・協働」を目標に利用児、保護者職員間の関係を大切に、一人一人が共に成長できる場の確保に努めてきました。

しかし、残念ながらアンケート評価（回収率は昨年同様80%）では、①職員の専門性②保護者支援では、どちらもいえないが31.3%あり、職員の専門性（連絡帳等の記録のあり方や保護者からの相談対応など）の向上を図る必要があります。③ひやりはっと、情報提供についての周知、説明、適切な対応については、どちらもいえないが37.5%と高くなっています。

④満足度では子どもは通所を楽しみにしているが75%。事業所の支援に対しての満足度は86%でした。

どちらもいえないとの回答があるということは、満足されていないこととして重く受け止めています。事業所として課題を整理し、課題に取り組み満足していただける支援を職員一同心掛けていきます。

1. 成果の詳細

一人一人の個性を大切に持っている力や良い面を認め、伸ばす支援を心掛けてきました。職員間での情報共有や連携、支援の充実に悩みながらも職員一人ひとりが努力しています。

多種多様な利用児同士の関わりの中で、利用者個々の大きな成長の姿を見るたびに、職員は大きな喜びを感じています。その喜びをご家族と共にとくさん感じあえるように今後も努めていきます。

30年度は大きな事故報告がありました。令和元年度は交通安全に気をつけ、事故報告は0件でした。今後も職員一同気をつけていきます。

2. 課題の詳細と改善目標

1. 安全・安心の場の提供

- ・事故につながらないように日頃からのひやり・はっとをしっかりと行い、未然防止に努めます。
- ・利用者が安全・安心して過ごせるように見守りや支援の徹底を行います。
- ・交通安全を心掛け、交通安全目標の毎日の唱和や出発前の安全への声掛けを徹底します。

2. 職員の資質の向上

- ・ペアレントトレーニング実践や行動療法を取り入れるなど支援に生かせるように努め

ます。また、接客態度や連絡帳の記録の仕方等においても資質が問われます。職員ひとり一人がしっかり行えるようにします。

3. 保護者との連携

- ・保護者からの相談や研修会等の情報提供、事業所情報（避難訓練・ひやりはっと・苦情、要望等）を目に見える形（お知らせ版等）で行っていきます。
- ・上記充実のために相談支援事業所との連携を図ります。

4. 地域との交流

- ・奉仕活動やイベント参加等を通して、地域参加の機会を持ちます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児 ・利用定員 10名 ・活動日 日曜日から土曜日（但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く）
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日（但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く）
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士	1	1		1
児童指導員	3	3		3
指導員		1		1
合計	6	7		7

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男	2	2	1	1	2	1	2	0	2	1	0	2	16
女	0	0	0		1	4	1	0	0	0	0	0	6
計	2	2	1	1	3	5	3	0	2	1	0	2	22

(2) 日中一時支援事業

区分	未就学	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	18歳	計
男	1	2	2	1	1	2	1	2	0	2	1	2	16
女	0	0	0	0	0	1	4	1	0	0	0	0	6
計	1	2	2	1	1	3	5	3	0	2	1	2	22

(3) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	遠野市	金ヶ崎町	その他
男	13		2	1				
女	6		0	0				
計	19		2	1				

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	15	3		1	1	2	22
女	3	3			2	2	10
計	18	6		1	3	4	32

(5) 指標該当区分

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	7	9	16	43%
女	3	3	6	50%
計	10	11	22	45%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	1			1
女	1	1		2
計	2	1		3

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	29	270	9.3	286
5月	29	236	8.1	264
6月	30	252	8.4	256
7月	31	293	9.4	289
8月	27	205	7.8	160
9月	30	217	7.2	230
10月	30	262	8.7	302
11月	30	277	9.2	307
12月	29	272	9.4	292
1月	28	240	8.5	218
2月	29	262	9.0	276
3月	22	207	9.4	133
合計	344	2,993	8.7	3,013

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	29	16	0.5	
5月	29	19	0.6	
6月	30	24	0.8	
7月	31	20	0.6	
8月	27	25	0.9	
9月	30	22	0.7	
10月	30	13	0.4	
11月	30	25	0.8	
12月	29	19	0.6	
1月	28	20	0.7	
2月	29	32	1.1	
3月	22	3	0.1	
合計	354	253	0.7	

(3)通学支援事業（朝送迎）

月	提供日数（日）	延人数（人）	平均利用者数（人）	送迎回数（回）
4月	16	41	2.5	17
5月	18	45	2.5	20
6月	19	49	2.5	21
7月	17	54	3.1	16
8月	6	11	1.8	10
9月	19	41	2.1	17
10月	20	40	2.0	22
11月	19	46	2.4	20
12月	17	41	2.4	15
1月	13	27	2.0	11
2月	18	37	2.0	19
3月	10	15	1.5	11
合計	192	447	2.2	199

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別活動
4	おやつ作り 昼食づくり	入学・進学を祝う会 誕生会 SST・スキル遊び	バランス運動 音楽療法 ヨーガ	ぬり絵・パズル 壁画制作	事業所の周りで 春を探そう 身体測定	
5	おやつづくり おにぎりを作ろう	手指運動 スキル遊び 避難訓練	読み聞かせ バランス運動 ヨーガ	手指運動 折り紙	トマトの苗植え お団子を食べに 行こう	明峰運動会 応援見学
6	おやつ作り 昼食づくり	誕生会 あいさつ運動	音楽療法 バランス運動 ヨーガ	カメラマンにな ってみよう 壁画制作	ハッピーレター 運動 周辺の散歩	江刺図書館 に行こう
7	昼食づくり	七夕会 当番活動 避難訓練	シャボン玉 音楽療法 ヨーガ	七夕飾り制作 貼り絵・ぬりえ 折り紙	トマトのお世話 水遊び	工場見学に 行こう
8	おやつ作り 昼食づくり	椅子取りゲーム スイカ割 SST	雑巾がけレース 風船パレー ヨーガ	おりがみ 手指運動	水遊び しゃぼん玉	カラオケに 行こう

9	おやつ作り 昼食作り	誕生会 スキル遊び 避難訓練	ヨーガ バランス運動 音楽療法	指先の運動 選択活動	読み聞かせ	増沢ダム見 学
10	昼食づくり	SST 選択活動 奉仕活動	ヨーガ 卓球ゲーム 音楽療法	制作活動 マクドナルトを 食べよう	ハロウィンパー ティ	親子交流会
11	昼食づくり おやつづくり	SST・ゲーム 誕生会	リズム体操 ヨーガ	新聞紙遊び クリスマス会制 作		
12	おやつづくり 昼食づくり 大掃除	誕生会 音楽療法 クリーン作戦 SST	リズム運動 手指運動 ヨーガ	壁画制作 ゲーム遊び パズル	クリスマス会	ひだまり会 合同クリス マス会
1	おやつづくり 昼食づくり	番初め 避難訓練 誕生会	あいさつ運動 音楽療法 ヨーガ	壁画制作 スキル・ゲーム	かるた お面・マスづくり	出前・食堂 体験
2	おやつづくり	誕生会 SST じゃんけんゲーム	踏み台昇降 ヨーガ・鉄棒 バランス運動	紙皿でUFOを作 ろう 壁画制作	節分 バレンタインお やつ	
3	おやつ総選挙	ありがとうを伝え よう 誕生会	綱引きゲーム 筋トレ運動 ヨーガ	手指運動 壁画制作 クリーン作戦 ビンゴゲーム	卒業を祝う会 キーホルダーを 作ろう	工場見学に 行こう

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	2件	件	%
5月	2件	件	%
6月	1件	件	%
7月	1件	件	%
8月	0件	件	%
9月	2件	件	%
10月	1件	件	%

11月	3件	件	%
12月	1件	件	%
1月	0件	件	%
2月	4件	件	%
3月	2件	件	%
計	20件	0件	%

※毎月の交通安全目標を作成、毎朝唱和し、送迎時には安全運転の声掛けを徹底しました。

ひやり・はっと内容では、職員関係で見守り不十分や確認・連絡ミス等が多くありました。ひやり・はっとの反省が生かされず同じミスが繰り返されていることが今後の課題です。

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	件	件	件
5月	件	件	件
6月	件	件	件
7月	件	件	件
8月	件	件	件
9月	件	件	件
10月	件	件	件
11月	件	件	件
12月	件	件	件
1月	件	件	件
2月	件	件	件
3月	件	件	件
計	0件	0件	0件

※要望・苦情は、ありませんでした。

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、個別特記にて支援での悩みや個別目標取り組み状況、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の活動計画の確認及び前月の活動の反省等を行いました。

②個別支援会議

個別支援会議は、定期的に行われ、支援方法、適正状況について確認を行いました。特に、事業所内の構造化や支援方法の工夫について、職員間で情報の共有を図り、利用者一人ひとりの個性を大切にされた支援に努めました。

2. 職員研修実施状況

事業所内研修では、倫理綱領や放課後等デイサービスガイドライン、法人マニュアル等の読み合わせを中心に業務の確認を行いました。

月	テーマ	内容
4月	放課後等デイサービスガイドライン 平成31年度事業計画	・従業者向けガイドライン読み合わせと確認 ・読み合わせと業務内容の確認
5月	ひだまり会 倫理綱領・行動規範	・読み合わせ
6月	リスクマネジメント おむつ交換と移乗の仕方	・研修報告/マニュアルの確認 ・実務研修
7月	チーム支援について	・虐待防止研修報告
8月	ペアレントトレーニング 重心の機能訓練	・未実施 ・利用児のリハビリテーション見学報告
9月	モニタリング	・利用者支援の振り返り
10月		
11月	交通安全について	・マニュアルの読み合わせと送迎ルートの確認
12月	感染症とその対応	・感染予防マニュアルの読み合わせ
1月	サービス評価表	・結果をもとに共通理解を深める
2月	モニタリング	・利用者支援の見直し
3月		
計	12	

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
4月	世界自閉症啓発デー記念公開講座	・岩手ひだまり会
5月	ポータル相談のための基礎講座 2019 「行動障害児・者とその家族への PBS 支援」	・NPO法人日本行動障害支援協会

	～基礎編インターネット講座	・岩手ひだまり会
6月	リスクマネジメント講座 令和元年度福祉サービスの苦情を考えるセミナー 令和元年度障害者相談支援従事者初任者研修	・岩手県社会福祉事業団 ・岩手県福祉サービス運営適正化委員会 ・岩手県
7月	令和元年度福祉職員キャリアパス対応障害研修 【チームリーダー編】	・岩手県社会福祉事業団
8月	令和元年度発達支援研修会	・岩手県立療育センター
9月	第20回自閉症療育セミナー 令和元年度東北地区知的障害者福祉協会専門研修会	・いわて自閉症センター ・東北地区障害者福祉協会・岩手県知的障害者福祉協会
10月	発達障がい児(者)の行動理解と家族支援 ～ペアレントトレーニングの理論とその実態～ 令和元年度サービス管理責任者等基礎研修 ペアレントトレーニング実践研修 日本自閉症スペクトラム学会東北支部第7回資格認定講座	・北上市保健福祉部福祉課 ・岩手県 ・岩手県 ・日本自閉症スペクトラム学会
11月		
12月		
1月		
2月	2019年度ソーシャルワーク実習報告会	・岩手県立大学
3月		
計	14	

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容（児童課・生活介護課合同）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月 28日(火)	迅速な避難・通報 情報収集	震度7の地震発生 その後地震による 火災発生	利用児・者 9名 職員 5名
7月 20日(土)	迅速な避難・ 通報・消火訓練	指導訓練室のコン セントから出火	利用児・者 5名 職員 4名
9月 14日(土)	迅速な避難・ 情報収集	北上川氾濫による 災害規模を想定し た訓練	利用児・者 4名 職員 3名
1月 25日(土)	迅速な避難・通報	厨房・食堂より出 火	利用児・者 5名 職員 4名

令和元年度ひだまり胆沢事業報告

I. 事業報告

ひだまり胆沢は、平成29年11月に開設し、放課後等デイサービス登録児17名、日中一時のみの登録者5名、計22名となり、一日平均9.4名と昨年度と比較して一日の平均0.8名の減となりました。

日々の支援では、初めて野菜栽培に取り組み、活動に観察絵日記を描たり、トマトが育つ過程を観察し、収穫したトマトを材料に昼食作りを行いました。また、開所当時より近隣の老人福祉施設を訪問し、作成したキーホルダーをプレゼントし交流を図ってきた事により、初めて慰問依頼があり、ダンス等披露することができました。

サービスに関するアンケートについては、71%と昨年度より回収率が13%下がり、配布の際に一言伝える等の配慮が必要であったと考えられます。その中から、8項目中3項目で100%の高評価を頂き、日々のコミュニケーションや丁寧な説明を心掛けた結果と感じます。しかし、「どちらともいえない」の回答も頂いていることから、利用児の支援について保護者との共通理解を深め、職員全員が助言を行えるよう学んでいく必要があります。職員アンケートに関しましては、回答にばらつきがあった項目について、職員が同じ解釈が出来るよう努めていきます。

更に、新型コロナウイルスの対策の学校休業時には、2/3以上の方が自宅で過ごされたことは、胆沢の多世代家族の地域特性とも考えられます。自宅で過ごされた利用児には、保護者様に週1回の様子伺いの確認を行い状況把握に努めました。

これらをまとめ、利用児の将来を見据え対応していく専門性が必要です。基本とする支援内容を職員一人ひとりが意識し、人から学ぶ姿勢、感謝の気持ちを忘れず、相手の立場を考えての行動が利用者のお手本となるよう、チームとして個々の力が大きな力に変わることで業務改善、支援技術の向上、サービスの質の向上等、すべてに繋げることが出来るよう取り組んでいきます。

1. 成果の詳細

小学校低学年が半数を占めています。子どもたち同士で関わりが持てるようになりました。挨拶が増え、活動に公共施設の利用を取り入れマナーの習得にも力を入れてきました。

更に、療育センターウィズより講師を招き、支援方法について勉強会を開催し支援技術の向上に努めてきました。常に、保護者と関わる中で会話を大切にしてきたことにより、自宅での様子等気軽に報告してくれるようになってきたことは、信頼関係を少しずつ築き上げることが出来ているのではないかと思います。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・関係法令等を遵守し、根拠を持って実践に繋げていきます。
- ・利用児の特性や発達状況に応じた支援の提供、その場の判断力等、支援技術の向上と、

- 保護者、各関係機関との連携を密にし、利用児、家族に寄り添った支援提供に努めます。
- ・業務を計画的、効率的に遂行できるよう職員一人ひとりが意識し、業務全てが連動していること、期限を厳守し勤務時間内で行うよう事業所全体で業務改善に取り組みます。
 - ・地域の方々との交流できる機会が増えるように取り組みます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児 ・利用定員 10名 ・活動日 日曜日から土曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし
- ・活動日 毎日(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 月曜日から金曜日は、7時30分から18時まで
土曜日、日曜日、祝日は、10時から16時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
所長(管理者・児童指導員)	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士	2	1		1
児童指導員		2	(1)	2 (1)
指導員		1		1
送迎員				
合計	4	6	(1)	6 (1)

5. 利用者の状況

(1) 放課後等デイサービス (日中一時と重複あり) 令和2年3月31日現在

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男		1	5		2		1		1	2			12
女		1	1		1			1		1			5
計		2	6		3		1	1	1	3			17

(2) 日中一時支援事業 (放課後等デイサービスと重複あり) 令和2年3月31日現在

区分	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	計
男	1	5		2				1	1			1	2	13
女	1	1		1			1		1			2		7
計	2	6		3			1	1	2			3	2	20

(3) 地域別利用者数 令和2年3月31日現在

区分	奥州市 胆沢	奥州市 水沢	奥州市 前沢	計
男	11	2	2	15
女	7			7
計	18	2	2	22

(4) 障害種別 (重複あり) 令和2年3月31日現在

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	11	3			1	4	19
女	6	1				1	8
計	17	4			1	5	27

(5) 指標該当区分 令和2年3月31日現在

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定(更新含む)の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。(1)「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要(2)コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率(該当/登録児童)
男	8	4	12	66.6%
女	4	1	5	80.0%
計	12	5	17	70.0%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男				0
女				0
計	0	0	0	0

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数	延人数	平均利用者数	送迎回数
4月	29	195	6.7	149
5月	29	214	7.3	180
6月	30	240	8.0	210
7月	31	264	8.5	202
8月	27	207	7.6	122
9月	30	229	7.6	215
10月	30	241	8.0	233
11月	30	257	8.5	265
12月	29	248	8.5	227
1月	28	215	7.6	167
2月	29	221	7.6	211
3月	22	104	4.7	22
合計	344	2,635	7.6	2,203

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数(日)	延人数(人)	平均利用者数(人)	送迎回数(回)
4月	29	55	1.9	23
5月	29	52	1.7	20
6月	30	72	2.4	25
7月	31	55	1.7	25
8月	27	47	1.7	17
9月	30	50	1.6	17
10月	30	54	1.8	20
11月	30	54	1.8	19
12月	29	50	1.7	18
1月	28	46	1.6	18
2月	29	53	1.8	17
3月	22	41	1.8	21
合計	344	629	1.8	240

(3)通学支援事業（朝送迎）

月	提供日数（日）	延人数（人）	平均利用者数（人）	送迎回数（回）
4月	14	14	1	14
5月	17	17	1	17
6月	20	35	1.7	20
7月	15	29	1.9	15
8月	10	16	1.6	10
9月	17	33	1.9	17
10月	21	37	1.7	21
11月	19	36	1.8	19
12月	17	32	1.8	17
1月	13	20	1.5	13
2月	18	34	1.8	18
3月	0	0	0	0
合計	181	303	1.67	181

7. サービス提供内容

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別活動
4月	筆の使い方	誕生会 ドライブ クリーン作戦	音楽療法 広告パズル	すごろく作り	自己紹介、一学期 頑張ること発表	選択ゲーム
5月	風呂敷の結び方 室内清掃	クリーン作戦 表情を統み取る	音楽療法 おやつピンゴ 玉入れ	カレンダー塗り 絵	母の日制作	間違い探し
6月	筆の使い方	誕生会 クリーン作戦	音楽療法 魚釣りゲーム ケンケンパー	ステンドグラス プラバンキーホ ルダー作り	父の日制作	
7月	昼食作り おやつ作り ボタン掛け	誕生会 図書館へ行こう	音楽療法 リズム運動 交差運動	貼り絵（朝顔）	七夕飾り シャボン玉液作り トマト等の観察	数字で塗り絵
8月	昼食づくり 筆の使い方 室内清掃	アイスを食べに行 こう	音楽療法 何が入っている かな ボウリング	うちわの絵付 あやめ作り（折 り紙）	トマト等の観察 二学期頑張ること 発表 家族交流会	数字の文字と言 葉のマッチング

9月	おやつ作り ボタン掛け 箸の使い方	誕生会 老人福祉施設慰問	音楽療法 おやつビンゴ	ちぎり絵 ブラバンキーホルダー作り	気圧計を動かしてみよう	敬老の日メッセージカード作り、梱包
10月	室内清掃	誕生会 選択活動	音楽療法 バランス運動 リズム運動	クジャク制作 落ち葉制作	ハロウィン 落ち葉拾い 読み聞かせ	手指運動
11月	おやつ作り	福祉の里まつり見学 図書館へ行こう 表情と感情の確認	音楽療法 模倣運動 交差運動	プレゼント作り リース作り		手作りバズル
12月	室内清掃 箸の使い方	老人福祉施設慰問 年賀状をポストへ投函	音楽療法 股開きジャンケン 魚釣りゲーム	クリスマスプレゼント作り	年賀状作り 二学期の反省と冬休みに頑張ること発表	クリスマスカード作りプレゼント梱包
1月	箸の使い方 昼食づくり おやつづくり	誕生会 お弁当買い物	音楽療法 交差運動 ボウリング	ヨーヨー絵付け マス作り	書初め 実験 みずき飾り 今年の抱負発表	
2月	手洗いをしよう 昼食づくり	誕生会 図書館でのマナーを確認しよう 図書館へ行こう	音楽療法 輪投げ バランス運動	鬼制作 お雛様制作	豆まき みかん探し 家族交流会	
3月	室内清掃 おやつ作り	外食時のマナーを話し合おう 昼食を食べに行く	音楽療法 リズム体操 昔のあそび	ブラバン作り 小物入れ制作 レジン制作	ひなまつり 1年間頑張ったこと発表、	

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	2件	件	%
5月	2件	件	%
6月	4件	件	%
7月	5件	件	%
8月	4件	件	%
9月	4件	件	%
10月	2件	件	%
11月	2件	件	%

12月	1件	件	%
1月	2件	件	%
2月	0件	件	%
3月	2件	件	%
計	30件	件	%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し各会議の報告、利用者の個別特記等の確認やひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行いました。更に、事業所内研修としてテーマを設け取り組みました。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し、利用者の行動に対しての原因を探り、どのような対応が必要であったか、今後どのように対応していくか等話し合い、支援方法について確認を行いました。

2. 職員研修実施状況

職員としての規則や規程、放課後等デイサービスの役割や請求等の流れ、利用者支援に必要なマニュアル確認、ひやりはっとの検証等、基礎知識を重点的に取り組みました。

今後、とっさの場面での判断、対応した支援について根拠をもって対応したことを説明できるようになることが課題となります。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> 運営方針、事業計画の目的 放課後等デイサービスの役割 	<ul style="list-style-type: none"> 事業計画書、放課後等デイサービスガイドラインに基づき説明。業務の流れ確認。
5月	<ul style="list-style-type: none"> 人権擁護、虐待防止について(身体拘束) 	<ul style="list-style-type: none"> 自己チェック表、虐待防止マニュアル、手引きより確認。
6月	<ul style="list-style-type: none"> 衛生管理と熱中症対策 支援について(コンサルテーション) 	<ul style="list-style-type: none"> 吐物の処理、熱中症への対応と予防マニュアル確認 外部講師を招き支援について確認他
7月	<ul style="list-style-type: none"> 災害、防災について 伝達研修 	<ul style="list-style-type: none"> 消火器の使用方法 避難について確認 虐待防止研修・キャリアパス(管理者編)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画 伝達研修 	<ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルの確認 キャリアパス(チームリーダー編)
9月	<ul style="list-style-type: none"> サービス評価 	<ul style="list-style-type: none"> 評価の趣旨確認
10月	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応について 伝達研修 	<ul style="list-style-type: none"> AED操作、心肺蘇生(消防署へ依頼) 障がい児の性～セクシャリティ～について考える 令和元年度指定障害福祉サービス事業者集団指導
11月	<ul style="list-style-type: none"> 感染予防について 伝達研修 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の感染症対応策マニュアルより確認 自閉症スペクトラム学会東北支部第7回資格認定講座
12月	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止 勤務表作成について 	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止策と事故等の対応手順マニュアル確認 勤務表作成シミュレーション
1月	<ul style="list-style-type: none"> リスクマネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> 件数の多いひやり・はっとの検証と今後の対応方法について確認

2月	<ul style="list-style-type: none"> ・支援方法について ・伝達研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応の必要な利用者への対応策 ・日常の声かけや職員同士の確認方法の再確認と実践するにはどうしたらよいか検討 ・パワハラ対策法律説明会
3月		

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
4月	・発達障がいの子どもの伸ばす魔法の言葉かけ	岩手ひだまり会
5月	・令和元年度リスクマネジメント研修（基礎編）	岩手県社会福祉事業団
6月	・虐待防止研修 ～従事者による虐待の防止と支援～（応用編）	岩手県社会福祉事業団
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理者編） ・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダー編） 	岩手県社会福祉事業団 岩手県社会福祉事業団
9月	・障がい児の性～セクシャリティ～について考える	岩手ひだまり会 岩手ひだまり会保護者会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度指定障がい福祉サービス事業者集団指導講習会 ・自閉症スペクトラム学会東北支部第7回資格認定講座 	県南広域振興局保健福祉環境部 指導監査課 自閉症スペクトラム学会
1月	・パワハラ対策等法律説明会	岩手労働局
2月	・奥州市地域福祉推進市民会議及び奥州福祉推進市民会議	奥州市

III. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月21日(火)	地震発生時の敏速な避難	東日本大地震 震度7	利用者 11名 職員 5名

7月5日(金)	消火器の操作方法、手順を学ぶ		職員	3名
7月29日(月)	火災発生時の初期消火訓練及び避難誘導訓練	漏電火災(パソコンコンセントより出火)	利用者 職員	8名 5名
9月13日(金)	国土交通省の防災カードにて水害発生時気をつける事	水害が起きた場合	利用者 職員	11名 5名
1月10日(金)	火災発生時の初期消火訓練及び避難誘導訓練	指導訓練室ブルーヒーターより出火	利用者 職員	9名 6名

令和元年度ひだまり北上中央事業報告書

I. 事業報告

(概要)

令和元年度の利用者数は放デイ・日中一時を合わせて 4,327 人（開所日数 344 日）で前年度 4,909 人（開所日数 355 日）と比較して利用者数が 582 人減少となりましたが、定員超過日が月平均 7.1 回あり、なお利用者が多い状況が続きました。

上半期には、職員の異動が続き苦慮する場面がありましたが、総員の努力により乗り越えることができました。運営面では、ひだまり農園での野菜づくり、地域交流センターや隣接の児童公園を活用した運動、近所の高齢者を招いての敬老会、社会見学ドライブなど多様な体験・交流の促進に努めました。

サービスに関する保護者向けアンケートでは、「子どもが通所を楽しみにしている」76 パーセント、「支援に満足している」90 パーセントなど概ね好評価となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大により 3 月初めの臨時休校から春休みへと長期・長時間・多人数の受け入れになりました。土・日休業、利用調整などにより乗り切ったものの、限られた施設スペースと従事職員数にあっては、安心・安全の点で留意事項がクリアできず課題が明らかになりました。

1. 成果

北上地区に開設して 4 年が経過しましたが、登録者のほとんどが継続して利用し、新規の受け入れ対応ができなかったものの定員を超える利用状況が続いていることから、多くの障害児・保護者に放課後の居場所を提供できたものと考えています。

事業実施においては、多様な経験・交流等の機会を提供し、地域との交流を図ることにより事業に対する理解を広げることができました。

また、ひだまり会が運営する「にこっと」と連携して、北上地区の学校等関係機関及び障害児を抱える親等に法人・事業所に対する認知・評価の定着に寄与できたものと考えます。

2. 課題と改善目標

北上市内には新規の事業所が開設され独自の運営がなされています。当面、大きな利用児離れの様相は見えませんが、放課後等デイサービスの本旨を再確認して利用者・家族のニーズに的確に対応し事業所の強みをアピールできる特色ある運営が求められます。

- (1) 北上地区の多様なニーズに対応できるよう北上地区 2 事業所の連携をさらに深めます。
- (2) 支援に関する知識・技法の獲得、人権の理解、コミュニケーション力の向上を図ります。

- (3) 利用児・家族、地域の関係者などに事業運営に対する理解を広めます。また、北上地区の保護者会の育成に努めます。
- (4) 定員を超える利用状況に対応し受け入れ態勢を整備するとともに、家族、関係機関等の理解と協力を得て適正なサービス提供に努めます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障害児
- ・利用定員 10名
- ・活動日 毎日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・営業時間 10時から18時まで

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障害児・者
- ・利用定員 10名
- ・営業日 毎日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・営業時間 月曜日から金曜日：10時から18時まで
土曜日、日曜日、祝日：8時30分から17時30分まで

4. 職員構成 (R2. 3. 31 現在)

職 種	基準	専従	兼務	計
管理者兼児童指導員	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士	} 2	1		1
児童指導員		3	(1)	3 (1)
指導員		3		3
送迎員				
合 計	4	9	(1)	9 (1)

5. 利用者の状況（契約者数）（R2. 3. 31 現在）

(1) 放課後等デイサービス事業

※日中一時との重複あり

	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳	計
男		2	1	3	7	2	3		2	1			1	22
女		2	2	1	1	2		2					1	11
計		4	3	4	8	4	3	2	2	1			2	33

(2) 日中一時支援事業（北上市）

※放デイとの重複あり

	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳～	計
男				2	2		1				2						1	8
女																		
計				2	2		1				2						1	8

(3) 地域別利用（契約）者数

※放デイ・日中一時（重複あり）

		北上市	花巻市			計
放デイ	男	22				22
	女	11				11
日中一時	男	8				8
	女	0				
計		41				41

(4) 放課後等デイサービス契約者の障害種別 ※主たる障害

	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	19	2			2		23
女	2	7		1			10
計	21	9		1	2		33

(5) 指標該当区分

	該当	非該当	登録者数	比率 (%)
男	2	20	22	9.1
女	1	10	11	9.1
計	3	30	33	9.1

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

	開所日数 (日)	延利用者数 (人)	送迎回数 (回)	一日平均利用者数 (人)
4月	29	353	392	12.2
5月	29	307	395	10.6
6月	30	332	457	11.1
7月	31	351	445	11.3
8月	27	290	287	10.7
9月	30	324	423	10.8
10月	31	331	454	10.7
11月	30	325	442	10.8
12月	29	307	410	10.6
1月	28	286	316	10.2
2月	28	293	402	10.5
3月	22	303	203	13.8
合計	344	3,802	4,626	11.0

(2) 日中一時支援事業

	開所日数 (日)	延利用者数 (人)	送迎回数 (回)	一日平均利用者数 (人)
4月	29	52	-	1.8
5月	29	43	-	1.5
6月	30	40	-	1.3
7月	31	39	-	1.3
8月	27	46	10	1.7
9月	30	49	10	1.6
10月	31	48	8	1.5
11月	30	42	8	1.4
12月	29	43	6	1.5
1月	28	43	2	1.5
2月	28	49	8	1.8
3月	22	33	0	1.5
合計	344	525	52	1.5

7. サービス提供内容

	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・レク	創作活動	季節行事・その他	個別活動
4	新聞紙で遊ぼう 自分チェック プリント	買い物に行こう 自己紹介 誕生会	リズム体操 散歩しよう 音楽療法	カレンダー制作 こいのぼり制作	お花見	
5	当番活動 おやつ作り	買い物ゲーム 誕生会	しゃぼん玉 体を動かそう 音楽療法	母の日カード 塗り絵	花を植えよう	
6	手洗いをしよう 手指運動	誕生会 クリーン作戦	DVD 観賞 ビジョントレーニ ング	父の日カード 粘土遊び 座席表作成	畑に行こう	
7	新聞紙で遊ぼう	グループ活動 環境整備	風船バレー おやつバイキング	七夕制作 塗り絵	夏祭り 畑に行こう	
8	プリント学習 選択活動	思い出発表会 視覚運動	魚釣りゲーム 体を動かそう 誕生会	スライム作り 折り紙	開所記念日 畑に行こう	
9	挨拶運動 当番活動	クリーン作戦 買い物ゲーム 誕生会	散歩しよう 音読 縄跳び	敬老カード作成 ちぎり絵	敬老会 畑に行こう	
10	スキル活動 選択活動	プリント学習 避難訓練	ビジョントレーニ ング DVD 観賞	新聞紙で遊ぼう 塗り絵	畑に行こう 羊煮会 ハロウィン	
11	おやつ作り	防災訓練学習 うんこドリル 英語で遊ぼう	リズム体操 音楽療法	クリスマス飾り 作成	畑に行こう 季節を感じよう	
12	蝶々結びをしよ う	時計の見方 おやつ買い	魚釣りゲーム おやつバイキング	クリスマス飾り 作成 新聞紙で遊ぼう	クリスマス会 大掃除	
1	手作りラーメン 自分チェック	うんこドリル 避難訓練	グループ活動 音楽療法	鬼のお面づくり ちぎり絵	初詣に行こう みずき飾り 正月遊び	
2	おやつ作り 当番活動	言葉の学習 英語で遊ぼう	リズム遊び 音楽療法	雛人形作り	豆まき お雛様を見に行 こう	
3	本を読もう スキル活動	パズル 防災の学習 英語で遊ぼう	散歩しよう 体を動かそう	折り紙 メッセージカー ド作成	ひな祭り	

8. ひやり・はっと 苦情受付件数（平成31年4月～令和2年3月）

(1) ひやりはっと・事故

ひやり・はっと	事 故	事故発生率 事故/ひやりはっと×100
30件	0件	0%

(2) 苦情・要望等

要 望	苦 情	不適切と疑われた支援
2件	1件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行いました。

(2) 個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会、モニタリングのための担当者会議等を随時開催し、支援方法の確認を行いました。

(3) 職員朝会・終会

2. 職員研修実施状況

(1) 職場内研修

月	研修テーマ	研修方法・資料等
4月	事業計画について	・事業所の課題、具体的取組み読合せ ・事務処理進行管理表の作成、業務内容確認
5月	個別支援計画・記録の書き方	支援計画書作成の流れ、ケース記録のポイント
6月	虐待防止	「障害者福祉施設等における虐待防止と対応の手引き」読合せ

7月	放課後等デイサービスのあり方①	放課後等デイサービスガイドライン（従事者向け）読み合わせ
8月	業務の流れの点検	事務処理進行管理表による業務の振り返り
9月	非常災害対策	・防災対応マニュアル読合せ ・消防設備・防災設備点検
10月	発達障害児の行動理解と家族支援	ペアレントトレーニングの理論とその実態
11月	ペアレントトレーニング実践研修	ペアレントトレーニングの実践について、研修内容の伝達
12月	福祉職員キャリアパス	・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者編（復命伝達講義）
1月	自閉スペクトラム症の理解と支援	DVD「自閉スペクトラム症の理解と支援」鑑賞
2月	福祉施設における災害対策	県南ブロック職員研修復命伝達講義
3月	1年間の振り返り	今年度のまとめ・振り返り、次年度の課題協議

(2) 職場外（派遣）研修

月	研 修 名	主 催
4月	発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ	岩手ひだまり会（共催）
6月	第18回自閉症初級セミナー	いわて自閉症センター
9月	「保護者面談」におけるカウンセリングの基礎と応用	認定NPO法人 日本ボーテージ協会
9月	第20回自閉症療育セミナー	いわて自閉症センター
9月	第4回自閉症学習会	いわて自閉症センター

9月	発達障がい児（者）の行動理解と家族支援	北上市
10月	岩手県社会福祉協議会障がい児支援部会・岩手県知的障害者福祉協会児童発達支援部会令和元年度職員研修	岩手県社会福祉協議会障がい児支援部会 岩手県知的障害者福祉協会児童発達支援部会
10月	日本自閉症スペクトラム学会東北支部第7回資格認定講座	日本自閉症スペクトラム学会
10月	令和元年度岩手県委託事業ペアレントトレーニング実践研修	岩手県
11月	令和元年福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者編】	岩手県社会福祉事業団
1月	令和元年度 県南ブロック協議会職員研修	岩手県社会福祉協議会 障がい者福祉協議会 県南ブロック協議会

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

実施日	重点目標	想定	参加者数
1.6.7	・迅速な避難、安全確保	〈地震〉 震度6弱	利用者 8人 職員 7人
1.9.25	・迅速な避難、的確な通報	〈火災〉 食堂から出火	利用者 3人 職員 7人
1.10.26	迅速な避難、的確な通報	〈地震〉 震度6弱	利用者 6人 職員 4人
1.11.14	・安全誘導、迅速な避難 ・的確な通報 ・消火器実地訓練	〈火災〉 食堂から出火	利用者 16人 職員 8人 消防署 3人

令和元年度ひだまり北上にこっと事業報告

I. 事業報告

ひだまり北上にこっとは令和2年3月末日時点での登録児数は、放課後等デイサービス28名、日中一時7名で、1日平均9.4名でした。放課後等デイサービスのみで見ると、利用率は79%でした。職員体制の変動があり、新規利用者の受入れが難しい状況がありましたが、体制が整った年末あたりから徐々に契約を進めました。新1年生の情報を相談支援事業所から多く頂き、新年度は主要事業である放課後等デイサービス契約をさらに進めていく予定です。

事故は車両事故が2件。うち1件は利用児が同乗していましたが怪我等はありませんでした。ひやり・はっとは22件。内訳は利用児支援に関することや職員間の連絡ミスが多く、職員連絡帳の活用や朝会での申し送りなど、情報共有の仕方を検討しました。

保護者向け放課後等デイサービス評価アンケートでは、平均して70%の「良い評価」を頂きました。しかし残念なことに、「職員の配置数や専門性」については、不定期の職員の異動に関する不安があるとご意見があり、42%の「どちらともいえない」の回答となりました。保護者の困りごとやご相談に対応できるよう、職員の支援の専門性への向上が求められ、内部研修などで支援方法について話し合う時間を設けました。保護者との大事な情報交換の場である保護者懇談会を、新型コロナウイルスの影響で中止にしましたが、新年度は状況を見て開催する予定です。

職員向けのアンケートでは、保護者への助言や相談対応について「できている」と感じており、保護者と21ポイントの差異があり認識のズレが見られました。自身の満足ではなく、相手に伝わるコミュニケーションの仕方が課題であると考えます。

ひだまり北上にこっとは開所して4年が経ちましたが、契約から利用、支援の振り返りの流れは滞りなく進められています。新年度は職員の専門性を高めるため、ABA理論(注1)を学びより深く支援方法を学ぶこと、そして利用者、保護者との信頼関係を築いていくことを目標にしていきます。

(注1) ABA=応用行動分析で心理学療法の一つ。指導者が対象者に介入し、適切な行動を獲得することを支援する方法。

1. 成果の詳細

- ・相談事業所からの新規の情報は多く、新規契約がスムーズに進められました。
- ・学校、行政、相談、事業所との情報交換にて連携をはかりました。
- ・LITALICOシステム(注2)の導入により、支援の基礎となる分析方法の学びをスタートさせました。

(注2) 株式会社LITALICO(本社:東京)。発達障がい児・者への療育・学習サービス、就労移行支援サービス等を行う会社。鳥取大学大学院教授の井上雅彦氏をスーパーバイザーに置き、様々な法人向けに入材育成や事業サービスの提供もおこなっています。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・ABAの学びにより職員の知識や支援技術のスキル向上を目指し、保護者により満足頂けるよう努めます。利用児・家族を第一に考え、事業所としてできることを最大限に行います。
- ・学校や行政、他事業所と情報共有の機会が少なかったように思います。他事業所と併用している利用児も多いことから、連携の機会を増やし、情報共有や役割について確認します。
- ・集団支援と同時に個別支援も取り入れながら、利用児の特性に合った支援をします。
- ・地域やボランティアなどの資源を使って、地域交流に努めます。

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス事業

- ・対象者 障がい児
- ・利用定員 10名
- ・営業日 毎日
(但し、8月13日～8月16日までと12月30日～1月3日までを除く)
- ・営業時間 午前10時から午後6時まで

(2) 日中一時支援事業（北上市）

- ・対象者 障がい児(就学前児童含む)・者
- ・利用定員 10名
- ・営業日 毎日
(但し、8月13日～8月16日までと12月30日～1月3日までを除く)
- ・営業時間 月曜～金曜日：午前10時～午後6時まで
土曜・日曜・祝日：午前8時30分～午後5時30分まで

4. 職員構成（R2.3.31現在）

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1	1		1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
児童指導員	2	2		2
保育士		1		1
指導員		4		4
送迎員				
合計	4	9		9

5. 利用者の状況（R2.3.31現在）

(1) 放課後等デイサービス（日中一時と重複あり）

区分	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	17歳			計
男	2	4	4	1	2	2	1	2	1				19

女	1		4	2		1			1	1			10
計	3	3	8	3	2	3	1	2	2	1			29

(2) 日中一時支援事業（放デイと重複あり）

区分	5歳	6歳	21歳										計
男	1	3	1										5
女			2										2
計	1	3	3										7

(3) 地域別利用者数（日中一時含）

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	北上市	花巻市	遠野市	その他
男					19	3	1	23
女					11		1	12
計					30	3	2	35

(4) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	その他	計
男	13	16			1	7	37
女	3	7				3	13
計	16	23			1	10	50

(5) 指標該当区分（4月時点の人数）

平成30年度障害福祉サービス等報酬改定において、放課後等デイサービスの利用児童については新たな指標が設けられ、指標により判定された重度の区分に該当する児童の割合に基づき、放課後等デイサービス事業所の基本報酬が決まることとなりました。支給決定（更新含む）の際に、指標該当の有無を判定することとなり、以下の(1)または(2)に該当する場合は、受給者証に「指標該当児」と記載されます。

(1) 「食事」、「排せつ」、「入浴」、「移動」のうち3以上の日常生活動作について、全介助が必要

(2) コミュニケーション等の項目ごとに算出した点数の合計が13点以上の児童が該当児童となります。

区分	該当	非該当	登録児童	比率（該当/登録児童）
男	5	14	19	0.26%
女	1	9	10	0.1%
計	6	23	29	0.2%

(6) 肢体不自由分類

区分	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	0	1	0	1

女	0	0	0	0
計	0	1	0	1

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

月	開所日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	29	257	8.8	259
5月	29	231	7.9	270
6月	30	245	8.1	294
7月	31	277	8.9	304
8月	27	216	8.0	137
9月	30	228	7.6	270
10月	30	235	7.8	266
11月	30	192	6.4	231
12月	29	206	7.1	203
1月	28	211	7.5	182
2月	28	204	7.2	222
3月	22	219	9.9	74
合計	343	2721	7.9	2712

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	29	41	1.4	26
5月	29	41	1.4	20
6月	30	41	1.3	21
7月	31	50	1.6	24
8月	27	42	1.5	19
9月	30	45	1.5	22
10月	30	51	1.7	26
11月	30	43	1.4	21
12月	29	42	1.4	22
1月	28	35	1.2	19
2月	28	46	1.6	21
3月	22	38	1.7	21
合計	343	515	1.5	262

(3)通学支援事業 (朝送迎)

月	提供日数/日	延人数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	0
7月	0	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	0	0	0	0
10月	0	0	0	0
11月	0	0	0	0
12月	0	0	0	0
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

7. サービス提供内容

毎月、安全教育として交通ルールや災害時の避難などについて紙芝居を使って指導しました。スキルは、目的を再確認し内容を見直して、個別支援目標についての取組を重点にしました。

月	主な活動内容					
	日常生活訓練	社会適応訓練	運動・音楽・ レク活動	創作活動	季節行事・ その他	個別活動
4	昼食作り (オム焼 きそば) 手指運動 おやつ作り (パフ ェ) クリーン作戦	安全教育 自己紹介 外出 (和賀川ふれあ い広場) 買い物遊び	音楽療法 音遊び ゲーム遊び 宝探し 室内運動	制作 (ちぎり絵・鯉 のぼり・カレンダー ー) 塗り絵	読み聞かせ 誕生会	スキル プリント
5	昼食作り (ピラ フ) おやつ作り (フル ーツポンチ) クリーン作戦	安全教育 避難訓練 (地震)	ゲーム遊び 縄跳び 音楽療法 音遊び	制作 (母の日・カレ ンダー・てるてる 坊主・あじさい) 塗り絵	誕生会 読み聞かせ 花植え	スキル
6	昼食作り (サラダ うどん) 手指運動 おやつ作り (ロー ルサンド)	外出 (詩歌の森公 園) 安全教育	バランス運動 ボール遊び リズム運動 玉入れ ゲーム遊び	塗り絵 制作 (風鈴・父の 日・カレンダー)	読み聞かせ	スキル プリント

	グリーン作戦 おやつバイキング		音楽療法			
7	手指運動 昼食作り(冷製パスタ) おやつ作り(牛乳寒天) グリーン作戦	安全教育 避難訓練(火災) 外出(花巻空港) 買い物遊び	リズム運動 ゲーム遊び 室内運動	制作(七夕・カレンダー) 塗り絵 お絵描き	読み聞かせ 水遊び	スキル プリント
8	大掃除 昼食作り(冷やし中華) おやつ作り(ピザ) おやつバイキング	安全教育	音楽療法 室内運動 ゲーム遊び リズム運動	制作(ちぎり絵・夏の壁面・カレンダー) お絵描き 絵日記	水遊び スイカ割り 読み聞かせ 誕生会	プリント スキル
9	手指運動 昼食作り(カレーライス) おやつ作り(フルーチェパフェ) 割り箸落とし グリーン作戦	安全教育 外出(図書館) 買い物遊び	ゴム跳び ボウリング バランス運動 音楽療法	制作(秋の壁面・敬老の日・カレンダー) 塗り絵	読み聞かせ 誕生会	スキル プリント
10	昼食作り(おにぎり・豚汁) 手指運動 おやつ作り(ベビーカーステラ) グリーン作戦	安全教育 避難訓練(土砂災害)	ゲーム遊び 縄跳び・トランポリン リズム運動 音楽療法 音遊び 玉入れ	制作(ハロウィン・カレンダー)	誕生会 読み聞かせ ハロウィンパーティー	スキル
11	手指運動 昼食作り(シチュー) 手指運動 おやつ作り(チョコバナナ) グリーン作戦	安全教育 外出(こたま祭り)	バランス遊び リズム運動 風船ラリー 宝探し 音楽療法	お絵描き 塗り絵 制作(クリスマス・カレンダー)	読み聞かせ	スキル プリント
12	手洗いチェッカーで汚れのチェック	安全教育	魚釣りゲーム リズム運動	お絵描き	クリスマス会 誕生会	プリント スキル

	おやつバイキング 昼食作り (のり巻き) 手指運動 おやつ作り (ホットケーキ) 大掃除	外出 (モスバーガー)	ボール遊び トランポリン 楽器遊び ビンゴゲーム じゃんけん大会	制作 (切絵・カレンダー) 折り紙	DVD鑑賞	
1	昼食作り (ひつまみ・おにぎり) おやつ作り (ぜんざい) クリーン作戦	避難訓練 (火災)	缶積みゲーム 玉入れ 音楽療法 新聞紙じゃんけん	書初め 双六作り 制作 (カレンダー・節分) 絵日記	正月遊び みずき飾り 読み聞かせ 誕生会	スキル プリント
2	昼食作り (お好み焼き) 手指運動 おやつ作り (ピザ) おやつバイキング クリーン作戦	安全教育 外出 (図書館)	テーブルゲーム じゃんけん列車 縄跳び リズム運動 音楽療法	制作 (ひな祭り・カレンダー)	豆まき 誕生会	スキル プリント
3	ビー玉落とし 昼食作り (ちらし寿司) おやつバイキング 非常食体験 おやつ作り (クッキー) クリーン作戦	安全教育	室内運動 ボール遊び リズム運動 どうしてかなクイズ ボール渡し	制作 (カレンダー・スクラッチアート)	ひな祭り 誕生会 卒業を祝う会	スキル プリント

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

今年度の事故報告は2件でいずれも車両事故でした。事故対応の確認と安全運転の心得についてマニュアルの再周知をします。

ひやりはっと

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	0件	0件	0%
5月	2件	1件	50%

6月	3件	0件	0%
7月	1件	0件	0%
8月	0件	0件	0%
9月	2件	0件	0%
10月	2件	0件	0%
11月	1件	0件	0%
12月	2件	0件	0%
1月	3件	1件	33%
2月	4件	0件	0%
3月	2件	0件	0%
計	22件	2件	9.1%

(2) 要望・苦情等

苦情は0件、要望は1件でした。要望に対してはその場で配慮不足について謝罪し、改善内容についてご理解いただいています。

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	1件	0件	0件
計	1件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

全員参加で毎月 1 回開催し、各委員会の報告、ひやりはっとの改善策の検討、次月の活動の確認等を行いました。事業所内研修は、研修計画に基づいて実施し、新しくスタートした LITALICO の支援システムについて振り返りを行いました。

②個別支援会議

個別支援会議を年 2 回開催し、個別支援について振り返りと協議をしました。日々の支援については毎日の朝会で振り返りをし、統一した支援に繋げました。

2. 職員研修実施状況

AED 講習を企画しましたが、コロナの影響で延期になり実施できませんでした。新年度は北上地区の事業所合同で実施予定です。

外部研修は各職員の経験年数などに応じて参加し、前年度よりは計画的に進められました。

(1) 職場内研修

職員会議で実施ということもあり時間に限りがあるので、職員会議以外の機会も検討します。

月	テーマ	内容
4月	利用者への対応の仕方、言葉遣い	振り返りと外部資料の読み合わせ
5月	(1)連絡帳の記入の仕方 (2)交通事故防止マニュアル (3)事業計画・方針	(1)確認 (2)マニュアルの読み合わせ (3)管理者からの周知
6月	K Y T 訓練	事例検討
7月	(1)虐待防止・身体拘束 (2)アンガーマネジメント	(1)(2)マニュアル読み合わせ・事例検討
8月		
9月	放デイの役割	ガイドラインの読み合わせ
10月	接遇	事例検討・外部資料読み合わせ
11月	(1)交通事故防止 (2)自閉症スペクトラム研修 (3)ペアレントトレーニング研修	(1)マニュアルの読み合わせ (2)(3)伝達研修
12月	苦情解決報告会	伝達と協議
1月	虐待防止研修	伝達研修

2月	(1)感染症 (2)パワハラ研修 (3)応用行動分析 (4)連絡帳と日誌 新様式の使い方	(1)マニュアルの読み合わせ (2)伝達研修 (3)資料を使って実践 (4)確認
3月		

(2) 職場外（派遣）研修

研修参加の機会を昨年度より多く持つことができました。新年度は、研修内容を厳選することと、自発的な研修参加を促します。

月	研修名	主催
6月	ファシリテーション研修	岩手県立大学
8月	ペアトレリーダー養成基礎研修会	あれんと
9月	(1)自閉症療育セミナー (2)ポーター相談のための基礎講座 (3)ペアトレリーダー養成基礎研修会	(1)いわて自閉症センター (2)認定NPO法人 日本ポーター ジ協会 (3)あれんと
10月	(1)発達障がい児（者）の行動理解と家族支援 (2)東北支部第7回資格認定講座 (3)ペアレントトレーニング実践研修	(1)北上市自立支援協議会 (2)日本自閉症スペクトラム学 会 (3)あれんと
11月	ペアレントトレーニング実践研修	あれんと
12月	障がい者虐待防止研修	岩手県保健福祉部障がい保健 福祉課、一般社団法人岩手県社 会福祉会
1月	パワハラ対策等法律説明会	岩手労働局

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容

AED講習・消防署立会訓練が未実施のため、今後実施予定です。

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月23日(木)	・迅速な避難 ・安全確保	・太平洋沿岸を震源とする強い地震	利用児 13名 職員 5名
7月16日(火)	夏季における火災発生時の ・避難誘導 ・初期消火訓練	キッチンのコンセントから出火	利用児 8名 職員 5名
10月16日(水)	風水害発生時の ・迅速な避難 ・安全確保	爆弾低気圧による暴風雨で窓ガラスが破損	利用児 6名 職員 5名
1月16日(木)	冬季における火災発生時の ・避難誘導 ・初期消火訓練	キッチンのコンセントから出火	利用児 13名 職員 6名

令和元年度

I. 事業経営

2. 障害者支援施設

社会福祉法人岩手ひだまり会

令和元年度ひだまり江刺岩谷堂就労課事業報告

1. 事業報告

ひだまり江刺岩谷堂就労課は平成 28 年 9 月に開所し 3 年 9 カ月になりました。現在登録者数が 10 名、1 日平均 4.7 名の利用であり、前年度 3.6 名から 1.1 名増加しました。(登録者数ピーク時 令和 2 年 2 月 10 名、平均利用者数 令和 2 年 2 月 6.3 名)

増加要因として、令和元年 11 月頃より短期利用希望者を 1 件 1 件受け入れることで、時間は掛かりましたが、一人ひとりに寄り添った利用者との関わりや支援等を実践することで少しずつではありますが、利用の定着に、また相談支援事業所の方々にひだまり就労課の存在についても浸透してきたのではと考えております。

時間給工賃につきましては平成 30 年 5 月、岩手県に提出した工賃向上計画(平成 30~32 年)に基づき同年 9 月に 80 円から 90 円に引き上げました。平成 30 年度に引き続き、令和元年度も 10 円引き上げ 100 円にする予定で進めてきましたが、青果物袋詰め業者様が人参用の自動包装機を導入したことで同社からの受注量が 5 割、また新聞、段ボールの市況も低迷が続いていることから、事業収入全体の約 3 割が減収となり令和元年度の工賃引上げを断念しております。

作業について、リサイクル回収の新規取引先として日報高橋様(販促ポスティングチラシの折り込み)、胆江日日新聞社様(新聞回収)からのご協力をいただいております。

また、かねてからの懸案であった施設外就労(農作業)に向けて、平成 30 年度は職場外(派遣)研修において計 4 回参加する機会がありましたが、令和元年度は別表 職場外(派遣)研修に記載のとおり計 7 回の施設職員向け農業専門セミナー、他に利用者向け収穫体験 2 回参加、農作業(りんごの収穫)の理解を深めるとともに、利用者本人にも体験していただきました。同時期においては施設外就労が可能な利用者が 2~3 名いましたが、職員体制が整わず結果令和元年度の施設外就労は見送っております。

一方、地域密着型のボランティア活動として、「ペットボトルのキャップ回収(まえさわエコキャップ運動推進委員会)」に取り組んでおります。(令和元年 12 月 31.9kg、15,950 個)

1. 成果の詳細

(1) 利用者推移

	平成 30 年 3 月	平成 31 年 3 月	令和 2 年 3 月
利用者数	6	8	10
平均利用者数	1.7	3.6	4.7

(2) 時間給工賃について

岩手県に提出しました工賃向上計画は以下の通りでございます。

平成 30 年度(実績)	平成 31 年度(目標)	平成 31 年(実績)	平成 32 年(目標)
88 円	96 円	90 円	104 円

※ なお、年3回の期末手当（8月、12月、3月支給）を加味した工賃額ですが、令和元年12月に岩手県の実地指導があり、就労支援事業活動増減差額 591,015 円を工賃として支払うよう指導を受け所要の措置を講じたことで下記の金額となっております。

（※ 事業所基準とは：時給 90 円、5 時間勤務/日、5 日/週、月 21 日の支給額皆勤 1,000 円を含んだ金額となります。）

	月額	日給	時給
事業所全体	14,085 円	1,219 円	256 円
※ 事業所基準	10,450 円	450 円	90 円

(3) 農福連携への取組みについて

別表、職場外（派遣）研修に記載の通り、以下の研修に参加いたしました。

- ・施設職員向け農業専門セミナー7回、利用者向け収穫体験2回

2. 課題の詳細と改善目標

以上のことを踏まえ、次年度事業として新計画の目標にも掲げております次のことについて取り組んでまいります

- (1) 前年度から引き続き他の事業所が定める利用時間での受け入れの難しい利用者については、数日/週程度からの無理のない、緩やかな、リハビリを兼ねながらステップアップできる就労の機会を提供します。
- (2) 既存取引先との受注単価の見直し、時間給工賃を岩手県に提出した工賃向上計画通り、早期に現行の 90 円から 100 円に引き上げることで、更なる利用者の就労意欲および定着利用を高めるとともに、新規利用者獲得に繋げてまいります。
- (3) 本人の特性や能力に応じ、農作業（施設外就労）、自主事業（縫製事業～布マスク製作、缶バッジ製作・販売）を新規に取り入れることで、時間給工賃の向上に結びつけ、また利用者の「働きたい」という要望を叶えていけるような取組みを考えていきます。

3. 事業内容

(1) 就労継続支援B型事業

- ・対象者 厚生省令で定める障害者
- ・利用定員 10名
- ・営業日 月曜日から金曜日
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・営業時間 午前9時から午後6時まで

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者（管理者兼サービス管理責任者）	1		1	1
サービス管理責任者	1		(1)	(1)

職業指導員（課長兼務）	1	1		1
生活支援員	1	3		3
合計	4	4	1	5 (1)

5. 利用者の状況（R2. 3. 31 現在）

(1) 就労継続支援B型

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	0	2	0	1	0	1	4
女	0	2	0	0	2	2	6
計	0	4	0	1	2	3	10

(2) 地域別利用者数

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	大船渡市	金ヶ崎町	その他
男	2	2	0	0	0	0	4
女	5	0	0	0	1	0	6
計	7	2	0	0	1	0	10

(3) 障害種別（重複あり）

区分	発達障害	知的障害	身体障害	精神障害	その他	計
男	2	1	0	1	0	4
女	0	2	1	3	0	6
計	2	3	1	4	0	10

(4) 障害認定区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	合計
男	0	0	0	1	0	0	1	2
女	0	0	0	1	0	0	7	8
計	0	0	0	2	0	0	8	10

6. 実施状況

(1) 就労継続支援B型 *送迎回数（ ）内の数字は送迎利用延べ人数となります。

月	開所日数/日	延利用者数/人	平均利用者数/人	送迎回数/回
4月	22	77	3.5	93
5月	22	84	3.8	112
6月	20	83	4.2	91
7月	23	105	4.6	113

8月	18	75	4.2	90
9月	21	88	4.2	106
10月	23	91	4.0	112
11月	21	108	5.1	149
12月	20	112	5.6	161
1月	20	109	5.5	170
2月	20	126	6.3	181
3月	22	132	6.0	210
合計	252	1,190	4.7	1588

7. サービス提供内容

青果物袋詰め	玉ねぎ、ジャガイモ、人参、みかん他
リサイクル回収	新聞、段ボール：主に業者回収（新聞販売所、ホテルなど） 空き缶、ペットボトル類：主に職員、保護者持ち込み協力
箱折り	和洋菓子用化粧箱の組立

1月に昼食会を開催し、二十歳を迎えた方のお祝いをその保護者を招き実施しました。

5月	えさし藤原の郷（見学）	10月	巖美溪（紅葉）
1月	成人を祝う会（及川翔太さん）	3月	お別れ会（及川翔太さん）

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故（平成31年4月～令和2年3月）

ひやり・はっと（件）	事故（件）	事故発生率（%） （事故/ひやりはっと×100）
1	0	0

(2) 要望・苦情等（平成31年4月～令和2年3月）

要望（件）	苦情（件）	不適切と疑われた支援 （件）
0	1	0

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

① 職員会議

毎月1回、職員会議、ケース会議を開催しております。

職員会議の内容としましては

- ・各会議・各委員会の報告
- ・事故、苦情、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知
- ・次月の業務・作業計画の確認等

また、ケース会議では

- ・利用者状況、勤務状況、作業評価（作業評価表に基づいてチェック）
- ・工賃判定、出勤日数および作業評価表より算出。

そして、年3回（7月、11月、3月）行われる判定会議では特別手当、9月の時間給に関する会議を実施しております。

②個別支援会議

個別支援会議では支援計画の見直し、支援方法について確認を行いました。特に、精神の方への支援については関係機関の情報も踏まえて検討を行いました。

2. 職員研修実施状況

令和元年度も平成30年度に引き続き、特に農福連携（施設外就労）の外部研修について可能な限り参加いたしました。岩手県主催の『施設職員向け農業セミナー（りんご）』は全7回に及ぶセミナーで、岩手県（保健福祉環境部、農政部農政調整課）をはじめ、岩手県社会福祉協議会（福祉経営支援部）、農業普及改良センター様等の繋がりが生まれ、利用者の参加意思次第ではありますが、次年度に向けて施設外就労の取り組みへの手応えを感じております。

次年度においても、引き続き農業セミナー等へ参加することで、“農業”の専門的な知識や実技、指導技術の習得に努めていく予定です。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	・基本理念・方針・倫理綱領・行動規範	マニュアル読み合わせ
6月	・伝達研修：苦情解決研修（川村） ：虐待防止研修（菊池所長）	参加者からの伝達
7月	・伝達研修：相談初任者研修（川村） ：しごとサポーター養成講座（佐藤）	参加者からの伝達
10月	・自閉症スペクトラム支援士資格認定講座（川村） ・サービス管理責任者等基礎研修（講義）（川村） ・農業専門セミナー（川村）	参加者からの伝達
11月	・事故防止と事故発生時の対応マニュアル	1. マニュアルの読み合わせ 2. 担当者からの伝達 3. 職員間で確認
12月	・発達障害の理解を深める	参加者からの伝達
1月	・普通救命講習会開催	江刺消防署から救急救命士を招いての講習
2月	・セクシュアルハラスメント	参加者からの報告

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
5月	・第1回農業専門セミナー（川村）	・岩手県
6月	・虐待防止研修（菊池所長） ・苦情を考えるセミナー（川村） ・障がい者相談支援従事者初任者研修 講義部分（川村） ・第2回農業専門セミナー（川村）	・岩手県 ・岩手県 ・岩手県 ・岩手県
7月	・精神・発達障害者しごとサポーター養成講座（佐藤） ・第3回農業専門セミナー（川村）	・水沢公共職業安定所 ・岩手県
8月	・ソーシャルスキルトレーニング（就労編）	・奥州市自立支援協議会（就労部会）
9月	・岩手ひだまり会第2回公開講座（川村、佐藤） （障がい児の性について考える） ・第4回農業専門セミナー（川村）	・岩手ひだまり会 ・岩手県
10月	・集団指導（川村） ・自閉症スペクトラム診断士研修（川村） ・サービス管理責任者研修（川村） ・第5回農業専門セミナー（川村）利用者2名を帯同。	・岩手県 ・日本自閉症スペクトラム学会 ・岩手県 ・岩手県
11月	・利用者向けりんご収穫体験 3名参加（小澤りんご農園）	・県南広域振興局
12月	・障がい者就労支援施設向け農業基礎セミナー（佐藤） ・社会福祉士 実習指導者講習会（川村）	・岩手県 ・東北福祉大学
1月	・AED・心肺蘇生講習会 ・第6回農業専門セミナー（川村） ・工賃引き上げ支援セミナー（佐藤） ・パワハラ対策等法律説明会（菊池所長）	・江刺消防署 ・奥州市 ・岩手県 ・岩手県
2月	・第7回農業専門セミナー（川村）	・県南広域振興局

Ⅲ. 防災関係

防災避難訓練実施内容（児童課・就労課合同）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月27日(月)	・迅速な避難 ・的確な通報	東日本大震災規模 (震度6)	利用児・者 14名 職員 8名
7月26日(金)	夏季における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	消防署立会 火災（1F 畳スペース 近くのコンセントより 出火）	利用児・者 17名 職員 9名
10月17日(木)	・迅速な避難 ・情報収集 ・指定避難場所への避難 (江刺総合支所)	大雨による河川の氾濫 ・注意情報発令 ・避難準備・高齢者等 避難開始発令	利用児・者 16名 職員 9名
1月8日(水)	冬期における火災発生時の避難誘導及び初期消火訓練が迅速且つ円滑にできるようにする。	1回畳スペース近くの コンセントより出火	利用児・者 16名 職員 10名

令和元年度ひだまり水沢森下生活課事業報告

I. 事業報告

令和元年度の重点支援目標として下記のように掲げ、目標が達成できるよう努めた。

- (1) 利用者の障害特性に応じた支援に努める。
- (2) 利用者が安心して過ごしやすい環境づくりに努める。
- (3) バイタルチェックを通して健康の維持、徹底を図る。
- (4) 食事、排泄、入浴等の身体介助を行うことにより日常生活を円滑に送れるようにする。
- (5) 利用者個々のニーズ、興味に基づいた創作活動を提供する。

昨年度からの継続的課題とも言える経営の安定、すなわち新規利用者の確保、利用率の向上には至らなかった。

1. 成果の詳細

- ・関係者(相談員、家族等)と連絡を密にし、本人への支援に努めた。
- ・利用者の安心、安全に関するヒヤリハットについて、職員一人一人の「気づき」を高めるため、内部研修として「KYT(危険予知訓練)」テキストを参考に学習を行った。
- ・ADLの衰えが目立ってきた利用者には、日常の状態を把握し必要な支援及び助言を行った。また、必要に応じて関係者(相談員等)との連携を行った。

2. 課題の詳細と改善目標

- ・利用者数の安定した確保に向けて、関係機関(学校、相談員等)との連携を継続的にを行い、情報の収集に努める。
- ・事故(送迎、利用者の転倒等)対策には十分配慮する。
- ・利用者の確保、利用率の向上に努める。

3. 事業内容

(1) 生活介護事業

- ・対象者 厚労省で定める障がい者
- ・利用定員 10名
- ・活動日 日曜日から土曜日とする
(但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く)
- ・活動時間 9時から17時までとする
なお、利用者の都合によってはこの時間の限りではない。

(2) 日中一時支援事業

- ・対象者 障がい児・者・利用定員 なし

- ・活動日 毎日（但し、8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日までを除く）
- ・活動時間 要相談

4. 職員構成

職員構成	基準	専従	兼務	計
管理者	1		(1)	(1)
サービス管理責任者	1	1		1
指導員	2	3		3
看護師		2		2
合計	4	6	(1)	6 (1)

※管理者は児童課と兼務

5. 利用者の状況 (R1. 3. 31 現在)

(1) 生活介護事業登録者

区分	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	3	3	1	4	2	13
女	0	3	1	1	0	5
計	3	6	2	5	2	18

(2) 日中一時支援事業登録者 (生活介護と重複あり)

区分	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計
男	2	0	6	4	2	0	0	14
女	1	1	1	7	0	0	1	11
計	3	1	7	11	2	0	1	25

(3) 地域別利用者数 (生活介護・日中一時)

区分	奥州市 水沢	奥州市 江刺	奥州市 前沢	奥州市 胆沢	金ヶ崎町	北上市	合計
男	16	2	1	2	2	0	23
女	7	0	2	3	0	1	13
計	23	2	3	5	2	1	36

(4) 障害種別 (生活介護のみ・重複あり)

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
男	3	8	4		15
女	2	3	1		6
計	5	11	5		21

(5) 障害種別（日中一時のみ・重複あり）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他（児）	合計
男	1	9		2	12
女	1	7		2	10
計	2	16		4	22

(6) 障害程度区分（生活介護のみ）

区分	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
男	0	0	3	3	3	3	12
女	0	0	1	1	1	2	5
計	0	0	4	4	4	5	17

6. 実施状況

(1) 生活介護事業

月	開所日数（日）	延人数（人）	送迎回数（回）	一日平均（人）
4月	29	175	221	6.1
5月	29	173	216	5.9
6月	30	157	178	5.2
7月	31	181	222	5.8
8月	27	144	169	4.9
9月	30	159	197	5.3
10月	31	183	227	5.9
11月	30	160	188	5.3
12月	29	155	187	5.3
1月	28	151	200	5.4
2月	29	119	158	4.1
3月	31	141	202	4.5
合計	354	1,898	2,365	5.3

(2) 日中一時支援事業

月	開所日数 (日)	奥州市 延人数 (人)	矢巾町 延人数 (人)	北上市 延人数 (人)	一日平均 利用者数 (人)
4月	29	112	5		4.1
5月	29	125	4		4.4
6月	30	133	7		4.6
7月	31	132	8		4.5
8月	27	110	4		4.2
9月	30	129	8		4.5
10	31	128	5		4.2
11	30	122	7		4.3
12	29	107	7		3.9
1月	28	98	6		3.7
2月	29	104	8		3.8
3月	31	102	6		3.4
合計	354	1,402	75		4.2

7. サービス提供内容

生活介護事業所として、日々行われる入浴、排泄及び食事等の介護は勿論のこと生活等に関する相談、助言等を行ってきました。

その他、自立の促進や身体的機能の維持向上を目的として下記の内容の活動を行いました。

- ・食を楽しむこととして、昼食づくり、おやつづくり・・・毎月
- ・心身を活性化するために音楽療法・・・毎月
- ・自分で好きなものを買うに行く、買い物外出・・・毎月
- ・自分の趣味を楽しむとして、自主的な創作活動・・・毎日
- ・健康維持のための散歩、運動・・・本人の状態を見ながら随時
- ・季節的な活動として、春の花見、合同クリスマス会への参加
- ・万が一に備えての避難訓練・・・年4回
- ・合同作業としてリサイクル (ペットボトル) 活動・・・随時

8. ひやりはっと・事故・苦情受付件数

(1) ひやりはっと・事故

月	ひやり・はっと	事故	事故発生率 (事故/ひやりはっと×100)
4月	0件	0件	0%
5月	0件	0件	0%

6月	2件	0件	0%
7月	1件	0件	0%
8月	1件	0件	0%
9月	0件	0件	0%
10月	0件	0件	0%
11月	0件	1件	0%
12月	1件	0件	0%
1月	1件	0件	0%
2月	0件	1件	0%
3月	0件	0件	0%
計	6件	2件	33.3%

(2) 要望・苦情等

月	要望	苦情	不適切と疑われた支援
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	0件	0件	0件
7月	0件	0件	0件
8月	0件	0件	0件
9月	0件	0件	0件
10月	0件	0件	0件
11月	0件	0件	0件
12月	0件	0件	0件
1月	0件	0件	0件
2月	0件	0件	0件
3月	0件	0件	0件
計	0件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行った。更に、事業所内研修として、次表（職場内研修）の通り、テーマに基づき共通理解と認識を深めた。

②個別支援会議

個別支援会議、ケース検討会を随時開催し支援方法の確認を行った。特に体力、ADLの低下が見られる利用者については、家族や担当相談員と連絡を密にし情報の共有を図りながら、支援していくことの確認を行った。

2. 職員研修実施状況

職場内、外部研修については、以下の通り行った。但し、資料読み合わせが多い事から「広く、浅く」ということになりがちである。次年度は、もう少し実りある研修を考えていきたい。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	平成31年度事業所計画について	事業所計画の読み合わせ実施
5月	人権擁護とプライバシーについて	資料を用意し読み合わせ実施
6月	緊急時の対応について	マニュアルの読み合わせ実施
7月	虐待防止・身体拘束禁止について	マニュアルの読み合わせ実施
8月	施設の安全管理・環境整備について	厚生労働省作成の資料を用意し読み合わせ実施
9月	非常災害対策について	ハザードマップの確認 マニュアル読み合わせ実施
10月	事故防止と事故発生時の対応	4月から9月までの事故・ヒヤリハットの見直し実施
11月	感染症・食中毒とその対応	資料を用意し読み合わせ実施
12月	接遇について	資料を用意し読み合わせ実施
1月	事故防止と事故発生時の対応	10月から1月までの事故・ヒヤリハットの見直し実施
2月	一人一研究発表会に向けて	発表者による発表練習実施
3月	交通事故防止について	資料:福祉送迎車両における安全運転について読み合わせ実施

(2) 職場外（派遣）研修

月日	研修名	主催
6/24	令和元年度リスクマネジメント研修	社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団
9/7～9/8	第20回自閉症療育セミナー	いわて自閉症センター
9/24	令和元年度感染症及び食中毒予防対策研修会	特定非営利活動法人 いわての保健福祉支援 研究会
10/31、 11/10	医療的ケア児等コーディネーター養成研修	社会福祉法人 岩手県社会福祉事業団
1/18～1/21	重症児者・医ケア児対応スキルアップ全国研修	社会福祉法人 天恵園
2/15～2/16	全国重症児者デイサービス・ネットワーク 第6回全国大会 in 東京	一般社団法人 全国重 症児デイサービス・ネ ットワーク

III. 防災関係

防災避難訓練実施内容（児童課・生活介護課合同）

実施日	重点目標	想定	参加者数
5月 23日(木)	・迅速な避難 ・通報	東日本大震災 震度7 15:20	利用者 3名 職員 3名
7月 5日(金)	・迅速な避難 午前11時より、水沢、 胆沢地区合同の職員消 火訓練	1階多目的室付近 より出火 15:30発生	利用者 1名 職員 4名
9月 28日(土)	・迅速な避難	大雨による水害 避難勧告発令 11:30	利用者 1名 職員 3名
1月 25日(土)	・迅速な避難 ・通報 ・消火訓練	2階食堂コンロより 出火 11:45発生	利用者 1名 職員 4名2

令和元年度

I. 事業経営

3. 相談支援施設

社会福祉法人岩手ひだまり会

令和元年度相談支援事業所ひだまり事業報告

I. 事業報告

1. 成果の詳細

相談支援事業所ひだまりは平成25年2月に開所し今年で8年目となりました。開所当初、放課後等デイサービス利用者の計画相談が主業務でしたが、歳月とともに高等部に進学し卒業されるお子さんも増えてきました。現在、利用されている児童と成人との割合は7対3となっています。

令和元年度は、保護者との面談等を通じて、親の支援の必要性を強く感じました。保護者支援の一環として、ペアレント・トレーニングを学ぶ機会を設けました。同じ悩みをもつ保護者同士が歓談しながら子育て応援する「子育てカフェ」を開催することで、子どもへの接し方を知り、保護者同士のつながりを持つことが出来ました。又、奥州市子育て支援センターとの連携により、学校や保育園、幼児教室などの関係機関とつながる事も出来ました。令和2年1月頃から新型コロナウイルス感染拡大防止の為、訪問、面談を自粛し、電話や郵送等での相談業務を行いました。

職員体制については、相談支援専門員が2名から3名体制になったことで、計画相談や基本相談により多く対応できるようになりました。

2. 課題の詳細と改善目標

相談支援の領域は、福祉サービスを利用する為の計画相談から学校との連携、就労施設との関わりなど多岐にわたりました。相談支援事業所としては、日頃から多職種との連携やネットワーク作りが重要だと考えており、施設等を訪問する機会を増やしながらか関係性を深めていくことが大事だと考えています。放課後等デイサービス中心から学校・就労施設まで広がりました。

今後、奥州市自立支援協議会の専門部会の体制の確立及び各相談支援事業所との連携のあり方について、十分検討することが重要課題だと思います。

3. 事業内容

①特定相談支援事業(根拠法 障害者総合支援法:収入種別:個別給付)

- ・対象者 障害者
- ・業務 障害者を対象とした相談支援
 - *サービス等利用支援計画の策定(支給決定前)
 - *継続サービス利用計画の策定(モニタリング)
 - *その他必要な日常生活支援(移送・身体介護等除く)
- ・活動日 月曜日から金曜日
(8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日は除く)
- ・活動時間 午前9時30分から午後6時30分
 - *但し携帯電話等で24時間365日体制で利用者の相談に応ずる。

- ② 障害児相談支援事業(根拠法:児童福祉法:収入種別 個別給付)
- ・対象者 障害児
 - ・業務 障害児を対象とした相談支援
 - *サービス等利用支援計画の策定(支給決定前)
 - *継続サービス利用計画の策定(モニタリング)
 - *その他必要な日常生活支援(移送・身体介護等除く)
 - ・活動日 月曜日から金曜日
(8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日除く)
 - ・活動時間 午前9時30分から午後6時30分
*但し携帯電話等で24時間365日体制で利用者の相談に応ずる。
- ③ 奥州市・金ヶ崎町障害児・障害者相談事業(根拠法:上記2法 収入種別 市町村委託費)
- ・対象者 障害児・者
 - ・業務 障害児・者を対象とした一般相談支援
 - *必要な日常生活支援(移送・身体介護等除く)
 - ・活動日 月曜日から金曜日
(8月13日から8月16日までと12月30日から1月3日除く)
 - ・活動時間 午前9時30分から午後6時30分
*但し携帯電話等で24時間365日体制で利用者の相談に応ずる。
- ④ 関係機関との連携事業
- ・サービス担当者会議等の開催
 - ・利用者サービス提供現場見学
 - ・対象利用者の家庭訪問
 - ・関係機関への訪問
 - ・関係会議への出席(自立支援協議会・療育部会等)
- ⑤ その他必要な事業(障害児・者への啓発に係る地域福祉の推進)

4. 職員構成

職員職種	基準	専従	兼務	計
管理者	1	0	(1)	(1)
相談員	0	2	0	2
合計	1	2	(1)	2 (1)

5. 利用者の状況

(1) 相談支援を利用している障害者等の人数 (令和2年3月31日現在)

	市町名	実人員	身体	重症 心身	知的	精神	発達	高次機能	その他
障害者	奥州市	38	4	4	24	6	0	0	0
	金ヶ崎町	2	0	0	2	0	0	0	0
	計	40	4	4	26	6	0	0	0
障害児	奥州市	97	4	5	49	9	30	0	0
	金ヶ崎町	4	0	0	4	0	0	0	0
	計	101	4	5	53	9	30	0	0
総合計		141	8	9	79	15	30	0	0

(2) 支援方法

市町名	訪問	来所	同行	電話	電子 メール	個別支 援会議	関係 機関	その他	計
奥州市	224	332	59	638	11	48	1,580	0	2,892
金ヶ崎町	1	21	1	25	0	1	17	0	66
総合計	225	353	60	663	11	49	1,597	0	2,958

(3) 支援内容

市町名	住宅入居等 支援事業		障害者等相談支援事業					
	1. 物件斡旋 及び契約手 続き支援	2. 生活上の 課題への対 応	1. 福祉サー ビスの利用 等に関する 支援	2. 障害や病 状の理解に 関する支援	3. 健康・医 療に関する 支援	4. 不安の解 消・情緒安 定に関する 支援	5. 保育・教 育に関する 支援	6. 家族関 係・人間関 係に関する 支援
奥州市	0	0	2,892	0	0	0	0	0
金ヶ崎町	0	0	66	0	0	0	0	0
合計件数	0	0	2,958	0	0	0	0	0

市町名	障害者等相談支援事業						合計
	7. 家計・経済に関する支援	8. 生活技術に関する支援	9. 就労に関する支援	10. 社会参加・余暇活動に関する支援	11. 権利擁護に関する支援	12. その他	
奥州市	0	0	0	0	0	3	2,892
金ヶ崎町	0	0	0	0	0	0	66
合計件数	0	0	0	0	0	3	2,958

(4) 障害種別

1-① 障がい者

	身体障害	知的障害	精神障害	重症心身	計
男	2	15	3	3	23
女	2	11	3	1	17
計	4	26	6	4	40

1-② 障害支援区分

	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	10	0	1	0	3	2	5	21
女	3	0	2	2	2	4	2	15
計	13	0	3	2	5	6	7	36

2-① 障がい児

	知的障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	情緒障害	その他	計
男	57	0	0	2	6	0	65
女	24	0	1	5	6	0	36
計	81	0	1	7	12	0	101

注 一 自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のも

二 主として心理的な要因による選択性かん黙等があるもので、社会生活への適応が困難である程度のも

2-② 肢体不自由児

	周辺児	重症心身障害児	医療的ケア児	計
男	2	0	1	3
女	4	1	1	6
計	6	1	2	9

注 医療的ケア児人工呼吸器や経管栄養といった医療的ケアを日常的に必要としている子ども。

6. 実施状況

(1) 相談支援事業

月	開所日数	相談件総数	新規相談者	備考
4月	20日	108	4	
5月	19日	230	5	
6月	22日	248	1	
7月	25日	257	0	
8月	17日	174	6	
9月	19日	172	2	
10月	29日	270	2	
11月	25日	280	7	
12月	25日	276	2	
1月	21日	238	6	
2月	18日	271	1	
3月	21日	434	4	
合計	261日	2,958	40	

7. ひやりはっと・事故・苦情受付件数 (平成31年4月～令和2年3月)

ひやり・はっと	苦情受付	事故
0件	0件	0件

II. 諸会議・職員研修の開催

1. 会議実施内容

(1) 事業所内会議

①職員会議

毎月1回開催し、各会議の報告、ひやりはっとの報告と今後の対応の周知、次月の業務・行事の確認等を行った。

2. 職員研修実施状況

令和元年度においては「子育てカフェ」開催のため、ペアレントトレーニング研修を重点的に実施しました。また、異動で配属された職員に相談員としての基本的な知識を得るための研修に参加させ資質向上を図りました。次年度においては重症児支援事業所の開設に向けて研修を重ねてきた。相談援助技術の研修、権利擁護・人権の各研修等に参加し、職員各自の更なる資質向上に取り組みました。

(1) 職場内研修

月	テーマ	内容
4月	基本理念・方針倫理綱領・行動規範	法人規程の勉強会
5月	低年齢の児童へのアンガーマネジメント	インストラクターによる勉強会
6月	発達障がいの理解を深める	資料や映像による勉強会
7月	感染症・熱中症の対応	マニュアルの訓練
8月	KYT 訓練	テキスト訓練
9月	虐待防止・身体拘束禁止	マニュアルを確認する。
10月	サービス評価表を元にしたサービス改善	サービス評価表の検討会
11月	事故防止と事故発生時の対応	マニュアルの研修勉強会
12月	発達障がいの理解を求める	資料や映像による勉強会
1月	AED 講習	救急救命士による講習
2月	法令遵守とコンプライアンス	資料・マニュアルによる研修
3月	来年度の事業計画について 非常災害対策【火事,地震, 水害】	事業計画書の作成検討 緊急事態のマニュアル検討・見直し等

(2) 職場外（派遣）研修

月	研修名	主催
4月	重心ダイネットワーク全国大会	全国重症児サービスネット
5月	岩手県重心児を守る会総会研修会	岩手重心児を守る会
6月		

7月	発達支援研修会 相談支援指導者養成に係る研修	岩手県療育センター 岩手県
8月		
9月	障害者相談支援従事者専門コース 岩手県権利擁護地域研修会 鹿野佐代子氏後援会	岩手県 岩手県 ひだまり法人本部
10月	スペクトラム学会第7回資格認定講座 スペクトラム学会第8回資格認定講座 医療的ケア児コーディネーター養成研修	自閉症スペクトラム学会 岩手県
11月	岩手県発達障がい普及啓発研修会	岩手県療育センター)
12月	自閉スペクトラム児感覚運動問題の理解	ジャパンライム
1月	重度心身障がい発達支援者養成研修	ジャパンライム
2月	発達障害児の生活自立習得アプローチについて	ジャパンライム
3月		

Ⅲ. 防災関係

※相談支援事業所は、避難訓練等は非該当施設のため、実施しませんでした。